



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心同窓会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
伊藤 清一

昨年より続くコロナ旋風は、今年になつても衰える事なく益々その勢力を強め、世界を混乱と不安の渦に巻きこんでいる感がありますが、樹心同窓

会員の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。本会におきましては、永年事務局長を務めて頂きました安井敏明さんに代り、四月一日付けで新しく前川正登さん（昭和五十年中学卒昭和五十三年高校卒）が就任されました。高安井敏明さんは今年も高校部会長

オリムピック・パラリンピックが七月に開催されようとしています。開催の是非については賛否両論に分かれるところです。しかしながら昨年の「ゴートウーキャンペーン」が感染の第三波をもたらしたことは記憶に新しいところです。人が動けば感染は拡大する。国際的な人流を前提としたオリムピックの開催はその後の第五波を引き起こすであろうことは予測できます。イギリス、ブラジル、インド、ベトナムなどを発祥地とする変異株の感染拡大も危惧されてもいます。



ご挨拶
学苑長
高臣 文祥

同窓の皆様にはご健勝にて各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の第四波はやや収束の気配が見られてはいるもののいまだ予断が許せない状況です。三重県においても六月中旬までまん延防止重点措置がとられていました。

このような社会情勢の中で、東京

として御協力頂く事には変わりません事を御報告させていただきます。会長の皆様方から種々御意見を頂き、又御協力頂きました樹心同窓会名簿が出来上り、購入された会員の皆様の御手許にも届いたことと存じます。立派な名簿で名譽ある同窓会に相応しい一冊であると思います。この名簿が会員皆様方の強い絆を生む事を期待したいと思えます。この立派な名簿作成は、安井敏明前事務局長の多大なご尽力によるもので、改めて感謝申し上げます。

昨年はコロナ禍、スポーツ及び文化活動において全国大会またはそれに準ずる大会に出場された選手に交付される激励金及びお祝い金に、ほとんどの大会が中止され開店休業といったところでした。

今年こそと思っておりますが、現在のところ樂觀は出来ない感があります。しかしその状況に負けず、御指導頂く先生方と共に熱心に取り組んでいる後輩学生の姿には、胸打たれるものがあります。その力を十分に発揮出来る場が与えられる事を心より願ひ、又今の努力が必ず報われる時がある事を信じ、見守りたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身会長は、先般「現在ほとんどもオリムピックを開催できる状況にはない。開催には相当なリスクを伴う」という覚悟が必要である」という趣旨の発言をされています。

現在ワクチン接種が進められていますが、今後どれほどの国民に摂取が行われるか、そのスピードが問われています。

本年八月一日に予定されておりました同窓会総会に対し、役員の方々からもご意見を頂き協議いたしました結果、命の大切さを考え、昨年に続き本年も中止させて頂く事といたしました。何卒ご了承ください。来年は七月三十一日(日)を予定しております。是非多数の皆様がご参加下さい。

新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身会長は、先般「現在ほとんどもオリムピックを開催できる状況にはない。開催には相当なリスクを伴う」という覚悟が必要である」という趣旨の発言をされています。

よってなんとか大事に至ることなく対応してまいりました。中高・短大におきまして学生生徒たちが無事に卒業し、それぞれ次のステージに進んでいったことは何よりのことであつたと思っております。

樹心同窓会の安井事務局長が退任され、前川正登さんが後任として就任しました。前川さんは本校卒業で長年公立中学校に勤務され、昨年津橋北中学校長を退職後学苑に戻ってきたくれました。温厚で実直なお人柄で同窓会の運営に十分な貢献をしていただけるものと期待しております。

昨年三月から続くコロナ禍により学校運営は大きな影響を受けたところで、学長・校長をはじめ教職員や学生・生徒の皆さんの努力に

止めることなく、行事等もできる限り実施する方向で進める方針を示しています。学苑においても感染症対策を十分に行い、規模の縮小など実

でしかありません。



ご挨拶

中高校長
鷲尾 尚史

同窓の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育についてご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症により、教育の現場において例年ならば当たり前に行われていた多くの行事が変更、規模縮小、中止となりました。四月、五月の休校による授業の遅れを取り戻すため、夏季休暇は例年の半分ほどに短縮となり、中学一年生の比叡山、中学二年生の志賀高原での校外宿泊学習や高校四年生の東京キャリア研修は中止となりました。また、多くの生徒が参加するセミナーや補習もほとんど行うことができず、特に高校Ⅲ年生や六

年生の受験に向けての学習指導に少なからず影響ができました。秋になつてからも感染の勢いは弱まらず、生徒が楽しみにしている体育祭、文化祭も開催が危ぶまれましたが、生徒会を中心に生徒たちと教職員が知恵を出し合い「高田祭」という形で実施することができました。高校Ⅱ年生、五年生、中学三年生で行う校外宿泊旅行(修学旅行)は実施時期や

行先、日程、行程を工夫しながらなんとか実施できないかと学年末まで対応してきましたが、最終的に中止とせざるを得ず、楽しみにしていた生徒たちには本当に申し訳のないこととなりました。このほかにも、国際交流関係の行事や中学合唱発表会

などは中止となり、また、三年制のイングリッシュキャンプなどの行事は形を変えて行ないました。卒業式は昨年同様に感染拡大防止のため、来賓の方々と在校生の出席をなくし、卒業生と保護者、教職員

のみで卒業生を送り出しました。Ⅲ年生、六年生合わせて六〇八名の卒業生がそれぞれの希望を胸に新しい世界へと進んでいきました。進学、就職の状況の詳細につきましては会報に記載されておりませんが、近年の状況といたしましては、三年制からいわゆる難関国公立大学への合格者が毎年出ていることは非常に喜ばしいことであり、昨年度は名古屋大学、名古屋市立大学など多くの大学に合格していきました。Ⅰ類からも

三重大学に現役で合格するなどよく頑張っています。また、六年制では東京大学理科Ⅲ類や京都大学医学部をはじめ難関国公立大学などで相変わらずの好成績を収め、進学校としての面目躍如といったところです。また、皇學館大学と高大連携協定を

結ぶなど進学指導にも引き続きしっかりと取り組んでいきます。部活動では、昨年度はコロナウイルス感染症により、インターハイや

高文祭、中体連など、運動部や文化部の部長たちが目指してきた全国大会や地方大会が次々と中止やウェブ開催になり、日頃の努力の成果をなかなか発揮することができませんでしたが、それでも各競技団体が感染防止対策を万全に行われた大会で、個人戦、団体戦あわせて十二種目で全国大会への出場を勝ち取り同窓会より激励交付金をいただきました。部員たちも同窓会の激励を励みに頑張り文芸部の牧水短歌甲子園優勝など優秀な成績を収めることができました。詳細につきましては各部署活動の報告をご覧ください。今年度

市の春季中体連はすでに実施されており、また、現時点でインターハイなどの全国大会の多くも開催される予定となっておりますので生徒の皆さんの活躍を期待しています。今年度は中学生一九〇名、高校生三六一名を迎えての入学式や体育祭

宗祖降誕会などの仏教行事など昨年は行えなかった行事が感染防止対策を万全に行うことができました。まだしばらくは感染が収まることはないと思われれますので、マスク着用や手指消毒などを徹底し、文部科学省や三重県教育委員会からの指針を参考にして教育活動が円滑に行えるよう努力してまいります。ワクチンの接種についても、対象年齢が当初

十六歳以上とされたいものが十二歳以上に引き下げられるという報道もあり、一刻も早く生徒、教職員にワクチンが行き渡り、安全安心に教育活動を行うことができるような状況になることを切に望んでいます。今年度も、同窓会総会は取りやめとなり、同窓の皆様から中高の学校教育について貴重なご意見をお伺いすることができずとても残念です。お気づきの点などございましたら是非お気軽にご連絡いただければと存じます。

が叫ばれています。経済活動にも影響を与え、さらに私たちの生活様式の変化は、地域社会や人間関係の絆にまで不安と孤独感をもたらすなどの悪影響を与えています。

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと推察申し上げます。今年度はコロナ禍が終息することを願っていましたが、変異株の拡大により医療体制はひっ迫し崩壊

本学におきましてもコロナ対策委員会を継続し、国・県の指針に基づき対応をしています。授業は目下、オンラインによる遠隔授業の導入と対面授業とを組み入れて進めています。本学の子ども学科・介護福祉コースは、施設実習があり、中止延期にならないように、日々の健康管理の徹底を行うことを学生達に求めています。学内外でより緊張感と危



ご挨拶と
現況報告

短大学長
梅林 久高

機感を持続させ、「感染しない。感
染させない」行動の大切さを発信す
るとともに、今は平常の生活に戻れ
ることを望むばかりです。

令和二年度の卒業式(卒業証書書
位授与式)は、コロナ禍のために、
卒業生・保護者・教職員のみで行い
ました。卒業生二〇九名(子ども学
科一八名・キャリアア育成学科オ
フィスワークコース六〇名・キャリ
ア育成学科介護福祉コース三一名)
が、それぞれの自己実現と希望を胸
に、高田短期大学卒業生としての自
覚と修学した学力・スキルを身に付
けて実社会へと羽ばたいていきまし
た。

卒業生は、高短祭をはじめ学生自
治会の行事などが縮小となり、キャ
ンパスライフを満喫することができ
ませんでした。また、育児文化研究
や介護福祉研究センター・仏教育
研究センターなどの諸活動も自粛、
規模縮小。さらには、情操教育と人
間形成の涵養に重要な仏教行事にも
三蜜回避した変則的な様式で行いま
した。とりわけ子ども学科・介護福
祉コースでは、施設実習が実施でき
るか否か危惧していました。若干の

変更は発生したものの無事に完了す
ることができました。各施設のご配
慮により実習できましたことは、本
学との長きにわたり築かれてきた信
頼関係によるものと感謝しておりま
す。実習に優る教育的効果はないと
思いますので、学生達も多くのこと
を学んだと自負していると思います。

就職状況については、キャリアセ
ンター長の情報をご高覧くださいば
幸甚です。コロナ禍のため求人募集
の減少を心配していましたが、好調
な結果であったと喜んでいきます。子
ども学科で、公務員幼稚園教諭、保
育士に十九名。オフィスワークコー
スで行政職に一名が合格しました。

企業面接ではオンラインによる試験
が実施され、その対応に戸惑いもあ
りましたが、キャリア支援センター
の教職員の豊かな経験に基づ
くノウハウと親身な指導により成果
を上げることができました。今年も
コロナ禍により経済的状況が悪化し、
求人募集も鈍化するのではないかと
予想されていますので、緊張感を
持つて対応していく決意です。

く影響を与えています。令和三年度
の入学式も、学生・保護者・教職員
で行いました。子ども学科一九〇名・
キャリアア育成学科オフィスワーク
コース六九名・キャリアア育成学科介
護福祉コース二十四名を迎えスター
ト。入学式後に新入生全員が本山参
拝を行い、両御堂を参拝。親鸞聖人
の生涯や教えの一端に触れ本学の建
学の精神を理解する良き日となりま
した。特に子ども学科では募集定員
一五〇名に対して多くの受験生があ
り、一九〇名が入学。前年比六十名
増となりました。オフィスワーク
コースは例年の入学者を確保。介護
福祉コースは、オープンキャンパス
時には例年になく留学生が参加して
いましたが、専門学校へながれたよ
うで、結果的には例年と同じ募集状
況となりました。子ども学科が爆発
的な入学者数となった原因は種々考
えられますが、コロナ禍のため県外
流出が減少し、県内にとどまったこ
とが考えられます。また、不況にも
強く生涯資格を有した仕事への関心
によるものと考えられます。その背
景には、高大連携校をはじめ、各校
との密接な入試広報活動の成果によ

るものと喜んでいきます。少子化の進
む中でこのように多くの学生が入学
してくれたことを嬉しく思うととも
に学生達の自己実現・目標のために
着実に育成していく責務を痛感して
います。
四月には新入生研修を一日に縮小
して実施し、子ども学科は短大にて、
キャリアア育成学科は白山ヴィレッジ
にて行いました。好天にも恵まれ、
学生達の親睦が深まった研修となり
ました。
今年の最重要課題は、やはり少子
化の進捗状況での募集確保です。四
大への志向が強まる傾向の中で、短
大の魅力をいかに可視化して発信し
ていくかがより強く求められます。
その一つの策として、昨年、介護福
祉センター主催の「介護のみらいを
考えよう」との作文コンクールを企
画。県教育委員会、各メディア、医
師会他、各種団体より後援を頂き、
小学五・六年生、中学全学年を対象
に募集の結果、一一〇〇作品が集ま
り、二十三名を表彰。全ての作文の
行間から、高齢者への温かい眼差し
の表現、その仕事に従事する方々へ
の感謝や仕事への大切さが素直に表

現されており、感動しました。直ち
に募集にはつながりませんが、若い
人々を育てていくのも必須で、必ず
実を結ぶと確信しています。また、
子ども学科では、地権者の方のご好
意により山林を借用し、自然体験
フィールドづくりに取り組んでいま
す。
この様な活動を通して活気ある短
大作りを目指しています。勿論、高
等教育機関としての質的向上をより
高め、人格形成の涵養と、時代に相
応し、地域社会に貢献しうる人材育
成を果たさなければなりません。新
緑に囲まれた自然豊かなキャンパス
の周辺には、雑草が繁茂していま
す。この生命力の強さ勢いを思う時、
「雑草とはその美点はまだ発見され
ていない植物である」と、アメリカ
の哲学者エマーソンの銘言を思い出
しています。全教職員が一致団結、
協力し、無限の可能性をもった一人
一人の学生達に寄りそって教育にあ
たってまいります。是非、皆様の知恵
やご協力を頂き、短大に一層ご支援
頂ければ幸いです。



新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科・部署
- 三、趣味・特技
- 四、着任のことば

中・高等学校

- 一、川合 康之
- 二、英語・四年生(副担任)
- 三、ドライブ、サイクリング、音楽鑑賞

四、本年度より高田学苑中・高等学校でお世話になっております。四年生副担任で英語を担当させていただきます。

私はこの三月末で県立学校を定年退職したのでいわばセカンドキャリアになります。千葉県で初任教員として採用され、二年後に三重県に戻ってからは亀山高校(三年)・石薬師高校(七年)・津高校(十一年)で教鞭を執りました。

その後、県教委事務局にて勤務(六年)し、神戸高校(三年)・松阪高校(三年)・津東高校(三年)で教頭職を務めました。この間、one-shot special的な単発講座は行ったことはありますが、基本的に教壇に立つのは十六年ぶりです。

個人的には進学校での授業経験を思い出しながら、また、さまざまな優れた授業実践を見せていただく中で「今度授業するときはこの授業をやってみよう」と暖めてきたプランを少しずつ実践していきながら、先生方に教えていただき日々の授業に取り組んでいきます。生徒の英語四技能が向上するよう、精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。

- 一、加藤 幸生
 - 二、理科・高校一学年(副担任)
 - 三、筋トレ、読書、家の掃除
 - 四、県立高校を定年退職となり、四月より高田学苑で勤務させていただきます。
- 月より高田学苑で勤務させていただきますことになりました。教科は理科(生物)を担当しています。現在、長年の県立高校の習慣がなかなか抜けきらず、学苑の勤務に慣れることに苦労しています。しかし、学年の先生方にいろいろ丁寧に教えていただき、少しずつではありますが、高田学苑がわかってきたように感じています。微力ではありますが、生徒の皆さん方の進路実現の力になれるように精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

一、笠原 美空

二、国語・高校Ⅱ年生(副担任)

三、居合道、刀剣鑑賞、歌うこと

四、本年度より高田高校でお世話になります。Ⅱ・Ⅲ年生の現代文を担当しています。二年前の教育実習でもお世話になった母校にご縁をいただき、感謝の念に絶えませぬ。

大学から居合道を始め、そこから日本刀に興味を持ち、今も関連書籍などで勉強中です。そんな私が座右の銘に掲げる言葉も刀に関連しています。「堅忍不拔」という言葉は、「どんなに苦しい場面であっても強く耐え忍び、決して刀を抜かない」という逸話から、「我慢強くこらえて志を変えない」という意味を持ちます。これは「力を持つ者であっても、おごることなく精進する」意味もあると解釈し、ここぞという場面で実力を発揮できるよう、目標に向かって常に謙虚に努力し続けたいと思います。

まだまだ未熟者ですが、教師として一日も早く円熟するよう精進してまいります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

- 一、渡邊 祐太
- 二、数学・生徒指導部
- 三、旅行・ドライブ・スポーツ観戦

四、今年度より高田学苑でお世話になっております。担当教科は数学です。高校Ⅰ年生の数学を担当しており、部活動では中学バレーボール部の顧問をしています。母校である高田学苑で、お世話になった先生方と働くことができ大変光栄です。

教師としての経験が浅く、慣れないこともたくさんありますが、日々様々なことを学ばせていただいております。数学の授業では、生徒が少しでも興味・関心を持てるように工夫をしたいと思っております。そのためにも、私自身が日々学び続けてまいります。授業や部活動だけでなく、学校生活全体を通して、生徒と過ごす日々を大切に、日々精進してまいります。

まだまだ至らない点も多いと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

- 一、有川 佳奈
- 二、理科・中学一学年(副担任)
- 三、星をみること
- 四、本年度より高田学苑でお世話になっております。担当教科は理科です。部活動は天文部と書道部の顧問をしています。母校である高田学苑に、学生時代から夢であった教師として、かつて教えていた

だいていた先生方と同じ視点で教鞭を執ることができることを大変嬉しく思います。

教師一年目ということで、慣れないことも多く、未だに日々の授業準備等で手一杯ではありますが、生徒たちの笑顔や真摯に教育に向き合われている先生方の姿・細やかな指導に支えられております。

まだまだ至らぬ点ばかりですが、少しでも早く仕事に慣れ、理科という科目を通して、物事を多面的な視野で見る力や勉強が楽しいと自発的に勉強に向き合う姿勢を生徒に養ってもらうことを、授業時間以外での交流を通しては、生徒一人ひとりを見守り、いざというときに背中を押してあげられるような教師になることを目指して、日々腕を磨き、生徒とともに成長していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

- 一、安藤 拓夢
- 二、理科・教務部
- 三、音楽鑑賞 野球観戦 映画鑑賞
- 四、本年度より高田学苑でお世話になっております。中高の六年間を過ごした母校で、お世話になった先生方と働くことができ、大変嬉しく思っております。教科は理科で、実験助手を担当しております。

だいたい先生方と同じ視点で教鞭を執ることができることを大変嬉しく思います。

教師一年目ということで、慣れないことも多く、未だに日々の授業準備等で手一杯ではありますが、生徒たちの笑顔や真摯に教育に向き合われている先生方の姿・細やかな指導に支えられております。

まだまだ至らぬ点ばかりですが、少しでも早く仕事に慣れ、理科という科目を通して、物事を多面的な視野で見る力や勉強が楽しいと自発的に勉強に向き合う姿勢を生徒に養ってもらうことを、授業時間以外での交流を通しては、生徒一人ひとりを見守り、いざというときに背中を押してあげられるような教師になることを目指して、日々腕を磨き、生徒とともに成長していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

昨年度は他県の公立中学校で勤務
していて、指導感覚や校内体制の
違う点に戸惑っていますが、まず
は慣れることに力を注いでいます。

私は、理科の学習の中で様々な
見方や考え方に出会い、身につけ
た資質を今後の人生に活かすこと
ができるよう、生徒の成長を支え
たいと思います、教員を目指しまし
た。生活面においても、学校行事等
を通して多様な価値観を持った人
と出会い、相手を尊重し思いやる
力を身につける機会を作りたいと
いう思いを忘れず、努力し続け
たいと思っています。

まだまだ至らぬ点多々ありま
すが、生徒が笑顔で安心して通
えるような学校作りに貢献できる
よう、生徒と共に成長していきたい
と思っていますので、よろしく
お願い申し上げます。

一、宮本 治

二、中学校美術科

三、パソコン

四、今年度より高田学苑で非常勤講

師としてお世話になっております。
県立の高等学校で三十七年間美術
教師として勤務してまいりました。
美術や音楽などの芸術分野の科
目は、生徒の青年期の人間形成に
深く関わると考えています。また、
見たもの聞いたものあらゆる物に

興味を示し、知識や経験として大
いに吸収してゆく時期でもあると
思います。こうした青年期の生徒
たちの感性を刺激し授業の中で共
に表現し創造する楽しさを共有で
きることは、美術教育の在り方そ
のものと思っています。

将来の充実した社会での勤労と
活動、豊かで心温まる生活を支え
る感性など、こうした生徒の豊か
な情操を授業の中で育むことが美
術や芸術の授業としてないうる
目的でもあると思っております。

初々しい中学校の生徒さんたちの
授業は、一人一人の純真で感性豊
富な生徒に接することで、あらた
めて教師としての喜びを感じてお
ります。

一、中川 結城

二、仏教

三、写真撮影

四、今年度からご縁をたまわり、母

校である高田学苑にて「仏教」の
授業を週二日担当させていただく
ことになりました。

大学では国語科の教員免許を取
得し、卒業後は児童福祉や子育て
支援の仕事に従事しておりました
が、仏教に魅せられ、仏教の大学
院（博士後期課程）に進学いたし
ました。

「仏教」は受験勉強ではない学

びの時間になります。知識を学ぶ
ことに留まることなく、生徒たち
が自分自身の在り方や、しあわせ
を改めて考える時間になると思い
ます。

高田学苑での「仏教」の時間を
通し、大切な中学・高校生活中は
もちろんのこと、卒業後も続く生
徒たち一人ひとりの人生のつらい
時、苦しい時、どんな時も豊かに
力づけられるよう精一杯つとめて
まいります。至らぬ点多く、学
びの途中ではありますが、今後と
もご指導ご鞭撻のほど、よろしく
お願いいたします。

一、栗原 直子

二、仏教

三、ランニング、野球観戦

四、ご縁があり、本年度より非常勤

講師としてお世話になっておりま
す。担当教科は仏教です。

数年前、恩師のすすめでスリラ
ンカへ行きました。スリランカは
国民の多くが仏教を信仰している、
いわゆる仏教国です。釈尊の歯が
納められていると言ひ伝えられる
仏歯寺へ行きますと、多くの仏教
徒たちの中に、たくさんの子供た
ちがいました。真っ白な制服を身
にまとい、皆で熱心にお参りをし
ている姿と佇まいは、とても印象
的でした。仏教の教えは、人生の

苦しみと向き合うことよってむ
しろ人生を充実させてくれるもの
です。彼らがその素晴らしさをよ
く理解していることは、目に見え
て明らかでした。私もこのような
仏教の素晴らしさを生徒たちに伝
えられるよう、日々精進して参り
たいと思っております。まだまだ至
らぬ点多々ありますが、今後と
もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよ
ろしくお願いいたします。

一、堀 孝輔

二、保健体育

三、グルメ巡り・ネットショッピング

四、本年度より高田学苑でお世話に

なっております。担当教科は保健
体育をしており、部活動では新体
操部の顧問をしております。母校
である高田学苑で教鞭をとること
を大変光栄に思います。在学中か
ら、卒業後に至るまでお世話に
なっていた、多くの先生方と同じ
現場で働くこととなり、身に引き
締まる思いであります。

教員一年目で仕事に慣れるのが
精一杯ではありますが、教材研究
や授業改善などを通して一日でも
早くより良い授業を届けたいと思
うと同時に、教科指導だけでなく
生徒一人一人と真摯に向き合うこ
とで生徒にとって充実した学校生
活になるように日々精進して参り

たいと思っています。
まだまだ至らぬ点多々あると
思います、今後ともご指導ご鞭
撻のほどよろしくお願い申し上げ
ます。

一、阪井田 美紀

二、家庭

三、ガーデニング・旅行・音楽

四、本年度よりご縁がありましてお

世話になっております。

高田学苑の校舎には父兄として
何度か入らせていただきましたが
このような形で通う日がくるとは、
ご縁のありがたさを感じています。

家庭科の教科を通して、皆さん
とともに生活や取り巻く環境をみ
つめ学んでいきたいと思ひます。
新しい環境で不慣れな点や至ら
ぬ点多々あるかと思ひますが、
ご指導のほどよろしくお願いいた
します。

一、中村 典生

二、国語

三、ツーリング、ギター、お寺巡り、

家庭菜園、家事全般、刺繍、DIY

四、公立高校を退職し、今年度から

お世話になっております。私の名前
の通り、古典に描かれた人々の生
き様を、楽しく読み解いていき
たいと思ひます。よろしく願ひし
ます。

一、杉田 律子

二、書道

三、水墨画、太極拳

四、本年度より高田学苑で再びお世話になっております。

依然としてコロナ禍が続く、マスク着用での授業風景があたりまえになっておりますが、表情が分かりにくく違和感もぬぐえませんが、自由に勉強やスポーツに集中できるように、コロナウィルスの早期終息を願っております。

まだまだ至らぬ点多々あるかと思いますが、このご縁に感謝して少しでも書の楽しさを伝えられたらと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

短 大

一、亀澤 朋恵

二、子ども学科

三、スケッチ、読書

四、本年度より子ども学科講師として着任いたしました。「造形表現技術」等、造形関係の授業を担当

しております。前年度まで、高田短期大学子ども学科と同様の保育者養成の短期大学にて、子どもの造形関係の授業を担当していました。その経験を踏まえながら、さらに内容を深めてゆきたいと考えてい

ます。学生のなかには図画工作や美術が苦手だった学生もいますが、まず学生自身が造形表現を楽しんでほしいと思います。そして、造形表現を子どもと一緒に楽しめる保育者になってほしいという願い

をこめ、授業をすすめてまいりたいと考えています。まだ力不足のところ多々あるかと思いますが、どうかよろしくお願いいたします。

一、大野 照文

二、子ども学科

三、アンティーク収集

四、五年前に三重県総合博物館に赴任して以来、三重の各地の豊かな自然やその中で脈々と受け継がれてきた文化に魅せられ続けています。

高田短期大学では、図書館長を務めます。図書館の蔵書は五万冊余りと充実、ネットでも検索可能です。ニーズの高い本は館内あちこちに置かれた本棚で手に取ることでできます。また、グループワークエリアやプレゼンテーションエリアがあり、対話しながらの学習やプレゼンの練習などに活用されています。

私の専門は化石の研究ですが、その知識を生かして、ワークショップや講演などを行ってきました。高田短期大学では、この経験を活

かして、学生さん達と一緒に頑張って、子ども達を対象に、好奇心や向学心を刺激する活動も行ってゆきたいと思っています。

一、権部 良子

二、子ども学科

三、手芸での小物づくり

四、本年四月に子ども学科特任講師として着任いたしました。

これまで、幼稚園と小学校で勤務し、たくさんの親子と出会ってまいりました。目の前の幼児や児童、そして保護者の方々のそれぞれの思いにまずは寄り添い、お互いの考えを出し合うことの大切さを感じた日々でした。

このほど、保育者を目指す学生さんたちの学びに関わる機会を得ることができました。

子どもをめぐる課題は、日々変化しています。本学の学生さんたち一人ひとりが、保育者として力をつけていけるよう支援したいと思っております。

一、日下 清佳

二、キャリア育成学科オフィスワークコース

三、散歩

四、本年度四月より、キャリア育成学科に着任いたしました。キャリア

デザイナーやキャリアガイダンスなどの授業を担当するほか、キャリア支援センターの皆様方や他学科の先生方、職員の方々と力を合わせ、学生さんのキャリア支援を行っています。

私自身のキャリアを振り返りますと、順調な時であれば、悩み苦しむこともありましたが、社会に出れば楽しいことだけではなく、困難な事も沢山起こります。だからこそ、学生の皆さんには在学中から、社会で「生き抜く力」を身に付けて頂きたいと思っています。

学生の皆さんと共に、私自身も新たな環境で成長していけるよう励んで参ります。これからどうぞよろしくお願い致します。

一、宮崎 信明

二、キャリア支援センター

三、観光ウォーキング、ゴルフ

四、この4月にキャリア支援センターのサポーターに着任致しました。

学生の皆さんは就職活動をするにあたって希望と一抹の不安を抱きながら、その活動を行っていることと思います。そう言った中で少しでも皆さんのお役に立てるようサポートできればと思っております。いつでも気軽に声をかけて下

さい。

学生の皆さんが有意義な楽しい学生生活を過ごせるよう微力ながらも務めていきますのでよろしく
お願い致します。

一、中森 ちのり

二、キャリア支援センター

三、ウォーキング、お茶を楽しむこと

四、本年度より、キャリアサポーター

としてお世話になっております。私は、長年乳幼児教育にたずさわり、たくさんの子ども達、保護者、同僚と出会いました。

幼稚園教諭、保育士を目指す学生さん達が、就職活動をする中で、様々なことに悩み、苦しみ、不安に感じることが、あるかもしれま

せん。そんな時は、私がこれまで培った経験を活かし、何事もポジティブにとらえ、人との繋がりを大切に、いつも笑顔でいられるようサポートしていけたらと思います。今回、母校である高田学苑に、このような機会をいただきました。事に感謝して、微力でございますが、一生懸命努めて参りたいと思
います。どうかよろしく願
います。

進路指導

令和 2 年度生は、三年制 I 類 210 名、II 類 222 名の合計 432 名、6 年制 172 名が卒業しました。

令和 2 年度入試の合格者数および就職決定先を既卒者を含めまとめましたので、ご報告します。

進路状況

令和 2 年度入試の全体・3 年制・6 年制の進学結果は、次の通りです。

	三 年 制				小計	六 年 制		小計	合計
	I 類		II 類			現	卒		
	現	卒	現	卒					
四年制大学	118	3	262	63	446	277	140	417	977
国公立	0	0	8	0	8	6	1	7	20
私立	118	3	262	63	446	277	140	417	977
外部所管省科学部	0	0	0	0	0	1	1	2	1
海外	0	0	0	0	0	0	0	0	1
短大	42	0	15	0	57	0	0	0	47
公立	5	0	4	0	9	0	0	0	8
私立	65	0	23	1	88	0	0	0	56
就職	3	0	2	0	5	1	0	1	4

○三年制

主な大学進学先

名古屋大学	1 名
九州大学	1 名
三重大学	9 名
和歌山大学	2 名
鳥取大学	1 名
名古屋市立大学	2 名
三重県立看護大学	1 名
学習院大学	1 名
東京理科大学	2 名
愛知大学	11 名
中央大学	15 名
南山大学	1 名
名城大学	11 名
皇学館大学	44 名
同志社大学	1 名
立命館大学	5 名
高田短期大学	38 名

高校進路指導部

格者が出た反面、冬の国公立大学受験では最後まで粘り強く受験した生徒が減少してしまいました。

来年度入試も COVID19 の感染拡大が続く中、依然多くの不安を高三生が抱えていると思います。正確な情報提供を通して緻密な進路指導を行ってまいります。

○六年制

主な大学進学先

東京大学	7 名	(理科三類 1 名)
名古屋大学	8 名	(医学科 1 名)
三重大学	20 名	(医学科 13 名)
京都大学	6 名	(医学科 1 名)
大阪大学	1 名	
神戸大学	4 名	(医学科 2 名)
慶應義塾大学	2 名	
早稲田大学	6 名	
同志社大学	2 名	

過去 5 年間の合格者推移

年 度	H28	H29	H30	R元	R2
卒業生	374	392	404	396	432
国公立大学	37	22	26	30	22
私立大学	445	421	408	447	446
短期大学	48	69	57	57	76
各種・専門学校	54	60	75	64	88
就職	2	8	9	4	5

今年度は COVID19 の感染拡大による景気悪化のため、受験生の遠隔地受験や併願学校数の減少により多くの大学で志願者減が起き、昨年度と比べて全体的に大学入試は易化しました。秋の推薦入試で多くの合

過去 5 年間の合格者推移

年 度	H28	H29	H30	R元	R2
卒業生	194	193	187	183	172
国公立大学 (公全)	106	114	109	122	100
国公立大学 (公現)	89	79	73	88	82
私立大学	396	386	466	528	417
医学部 (私立)	71	66	64	66	56

六年制でも、昨年度と比べて併願数の減少により私立大学の合格者数が減少しています。ただ、現役生の国公立大学合格者は昨年度並の数が維持できています。

中・高部活動

よう、宜しく願い申し上げます。

■中・高柔道部
<中学・高校男子>
令和 2 年度部員数
中学生 3 年生 男子 3 名 計 2 名
高校生 (男子)
3 年生 5 名
4 年生 1 名
5 年生 1 名
6 年生 6 名
計 14 名

最近の諸大会成績 (上位入賞のみ)
三重県高校総体 柔道競技 男子
男子団体 三位

男子個人
66 kg 級 二位 3 年 筒井 稜亮
(東海総体出場)
73 kg 級 二位 3 年 田中 優羽
(東海総体出場)
60 kg 級 五位 2 年 今西 優太

平素は、学苑をはじめ、卒業生の皆様、保護者の皆様よりご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。今年度は、新入生 2 名 (含 4 年生) を迎え、新たな顔ぶれでスタートを切りました。

昨年度は、コロナウイルス感染拡大により、思うような練習ができないうち、男子団体としては三年ぶりに東海総体出場を果たすことができました。

今後、この勢いを保ちつつ、全副員が学苑での生活で「文武両道」を成し遂げる「高田の柔道」を目指し、取り組んで参ります。今年度も変わらぬご指導、ご声援を賜ります

<高校女子>
【二〇二一年度部員数】
高校生 3 年生 女子 9 名
2 年生 女子 6 名
1 年生 女子 5 名
計 女子 20 名

【二〇二〇年度】
諸大会成績 (三重県大会は上位入賞のみ)
◎第四十回三重県高校女子柔道
新人大会全国高校柔道選手権予選
二〇二一年一月十六・十七日
名張市武道交流館いきいき

【団体戦】 準優勝
出場選手：後藤優菜 (2 年)
辻 悠花 (2 年)
保田恭樺 (2 年)
林 美羽 (2 年)
下田舞愛 (2 年)

【個人戦】 準優勝
階級別 準優勝 2 年 川崎 祥乃
階級別 三位 1 年 梅本 彩恵

階級別 優勝 2 年 後藤 優菜
階級別 準優勝 1 年 坂山 永
階級別 準優勝 2 年 前田明日香
階級別 三位 1 年 山下 美優
階級別 準優勝 2 年 辻 悠花

全国高校柔道選手権大会出場
階級別 準優勝 1 年 坂山 永

無差別 優勝
 Ⅱ年 櫛木 碧
 全国高校柔道選手権大会出場
 無差別 三位
 Ⅱ年 保田 恭樺
 無差別 三位
 Ⅱ年 下田 舞愛

階級別 三位
 小早川(Ⅰ年)
 階級別 準優勝
 辻(Ⅲ年)
 階級別 三位
 小口(Ⅰ年)
 階級別 優勝
 櫛木(Ⅲ年)
 階級別 優勝
 東海ジュニア出場
 階級別 優勝
 下田(Ⅲ年)出場
 階級別 三位
 白井(Ⅰ年)
 階級別 準優勝
 保田(Ⅲ年)

○第四十三回全国高等学校柔道選手権大会
 三月十九日
 日本武道館【東京都】

○三重県高等学校総合体育大会
 五月二十九・三十日
 インターハイ予選

【個人戦】
 階級別 出場
 Ⅱ年 後藤 優菜
 無差別 第五位
 Ⅱ年 櫛木 碧
 全国ベスト8

【団体戦】
 準優勝 東海総体出場
 出場選手：保田(Ⅲ年)
 櫛木(Ⅲ年)
 辻(Ⅲ年)
 前田(Ⅲ年)

【二〇二二年度】

○第三十六回三重県高等学校女子柔道選手権大会
 四月十七日
 名張市武道交流館いきいき

【個人戦】

階級別 三位
 川崎(Ⅲ年)
 階級別 三位
 平林(Ⅱ年)
 階級別 優勝
 坂山(Ⅱ年)
 インターハイ・東海総体出場
 階級別 準優勝
 林(Ⅲ年)
 階級別 優勝
 前田(Ⅲ年)
 インターハイ・東海総体出場
 階級別 三位
 高石(Ⅱ年)
 階級別 三位
 山下(Ⅱ年)
 階級別 準優勝
 辻(Ⅲ年)
 東海総体出場

階級別 優勝
 櫛木(Ⅲ年)
 階級別 優勝
 下田(Ⅲ年)
 インターハイ・東海総体出場
 階級別 優勝
 保田(Ⅲ年)
 インターハイ・東海総体出場

○全日本ジュニア柔道体重別選手権
 五月一日
 名張市武道交流館いきいき
 三重県予選会

【個人戦】

階級別 三位
 川崎(Ⅲ年)
 階級別 優勝
 坂山(Ⅱ年)
 階級別 三位
 林(Ⅲ年)
 階級別 準優勝
 前田(Ⅲ年)
 階級別 三位
 高石(Ⅱ年)

平素は学苑をはじめ、OB・OGの皆様、保護者の皆様よりご理解、ご協力、ご支援を賜り誠にあり

がとうございます。二〇二二年度は新型コロナウイルスの影響でほとんどの試合が実施されず悔しい一年間となりました。その中で一月と三月新人戦のみの開催となり、団体戦で準優勝、個人戦で二名優勝することができました。他にも多数の生徒が上位に進出し、高田柔道の勢いを見せることができました。また、優勝した2名は全国高校選手権に出場、憧れの日本武道館で青畳に立つことができました。そして出場した中で1名はベスト8に進出、全国五位の表彰を受けることができました。二〇二二年度は三重県選手権団体戦優勝、三重県ジュニア三名優勝、県総体では団体戦で準優勝し東海総体、個人戦で五名の選手が優勝しインターハイ出場を決めました。東海総体は六月十九・二十日名張市武道交流館いきいき、東海ジュニアは七月十一日大垣市武道館、インターハイは八月十一・十二日長野市ホワイトリックで実施されます。今後はさらに強化を進め、インターハイや全日本ジュニアで活躍し全国優勝を目指します。また二〇二二年は三重とこわか国体が開催されます。柔道を通じてさらに高田学苑の名を全国に広めることができるよう取り組みます。皆様方には今後も変わらぬご理解、ご協力、応援を賜りますようお願いいたします。

目標に向けて頑張っています。昨年度より自習室横の掲示板に作品を月変わりで展示しています。多くの先生方、生徒に鑑賞して頂くことが、生徒の制作に対するモチベーションになっていきます。今年度も継続して展示していく予定です。私学展は今年度も1月に行われる予定です。是非美術館に足を運んで頂けるとありがたいです。

○第二回万葉の郷とつとりけん全国高校生短歌大会 準優勝 (令和二年十二月十三日)
 昨年度の大会は、紙上審査やオンラインによる開催で、他府県の高校生と直接交流できなかったことが残念でしたが、本校文芸部史上最高の成績を収めることができました。応援やアドバイスをくださったOBやOGに心より感謝いたします。

■中・高文芸部

文芸部は、高校文芸部員十一名と中学文芸部員十三名とが一緒に活動しています。昨年度は、多くの全国大会の出場し、賞をいただきました。

○第五回高校生万葉短歌バトル in 高岡 本選出場 (令和二年八月二十三日)

○第十回牧水・短歌甲子園 学校対抗戦の部 優勝 (令和二年八月二十七日)

○第十五回全国高校生短歌大会 (短歌甲子園二〇二〇) 本選出場

○全国高校総合文化祭高知大会 (WEB総文)

○全国高校生短歌オンライン甲子園 優勝 (令和二年十一月七日)

○第三十五回全国高校文芸コンクール (令和二年十二月十二日)

詩部門 最優秀賞及び全国文芸専門部長賞

俳句部門 優良賞二名

短歌部門 入選二名

詩部門 優良賞二名

俳句部門 優良賞一名 入選二名

短歌部門 入選二名

■中・高放送部

高田中・高等学校放送部は、合同中で活動しています。令和二年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの大会や行事が中止となりましたが、樹心同窓会をはじめ諸先輩方や皆様のお陰様で、地元地域での活動や、オンラインでの大会に出場し、成果を修めることができました。

まず、Webでの開催となった第四十四回全国高等学校総合文化祭(高知大会)に出場し、「B1グラブプリin明石」において、「津ぎょうざ」で津市の町おこしをしている「津ぎょうざ小学校」さんを取り上げた番組で「審査員特別賞」を受賞しました。そして、パナソニック主催のSDGsをテーマにした映像作品の全国コンテスト「KWN日本コンテスト二〇二〇」で入賞しました。中学校の部と高校の部の両部門に参加し、いずれも最優秀作品賞(ベスト4)にノミネートされ、中学の部作品名「伝え、広げ」で、「ダイバーシティ賞」、高校の部、作品名「INANANZA」で「グローバル社会を救う」で「グローバル社会賞」を受賞し、「パナソニック社員賞」を受賞しました。このコンテストは世界大会まで繋がる大会です。来年度も出場したいと思っています。さらに、秋には、三重テレビの「Mie

ライブ」という番組に出演しました。「高田高校の学校見学会が、Web見学会」になった」という話題で一本の映像作品を作りました。さらに、J.R. 一身田駅とタイアップし、下校時の列車到着時に場内放送を行いました。終了後J.R.津駅の方に行いました。「次年度以降もタイアップを継続したい。」と言われ、新入部員を含め、やりがいを感じています。最後に、第七十六回国民体育大会「三重とこわか国体」の総合開会式の司会と、第二十一回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」のポウリングの競技の映像配信事業を担当することになりました。

これからも、放送部はいろいろな分野で活躍していきます。皆様の温かいご支援をお願いいたします。

■中高クリケット愛好会

クリケット愛好会は、オーストラリアとの国際交流を契機としてチームを作り、十三年前に活動を始めました。国内の高校で、クリケットを部活動として行う学校は二校しかなく、日本では比較的競技人口の少ないスポーツです。毎年、JOC主催の十九歳以下クリケット日本選手権大会へ参加し、全国から集まったクラブチームとリーグ戦を行い、上位入賞を目指しています。現在、高校生十四名の部員が日々活動を行っています。部員全員が初心者で、県内に練習試合を行えるチームがないので、実戦練習が不足するという悩みはありますが、生徒が主体的に練習メニューを作り、チーム内での絆を深め、万全の態勢で試合に臨めるよう励んでいます。

■中学軟式野球部

こんにちは。中学軟式野球部です。津市大会優勝、県大会出場を目標に

日々頑張っています。部の活動としては、木曜日以外の平日練習、週末には練習試合を行っています。勉強と両立し、楽しく元気に、ときに厳しくキャプテン、副キャプテンを中心に野球をしています。

僕たちの大事にしていることは、部活動を通して仲間と協力することで人間的に成長する、ということ。その上に技術の成長があると考え、仲間への思いやりやチームとしての人間性を大切にしています。日々の練習では、自分たちで自主的に練習メニューを考えることが多くあります。どのようにすると効率が良いかなど、何ができていないか、どうしたら改善できるかと知恵を絞って考えています。初心者が多い分、全員で考え、よりよい練習にするために、思ったことを学年を問わず、発言できるようにしているからこそ、協力ができているのだと思っています。

春季大会では、試合に出ている人も出ていない人も大きな声を出すこと、野球を楽しむこと、部員全員で団結することを大切にして試合に臨みました。その結果、津市大会の準決勝まで勝ち進むことができ、見事津市三位に入賞することができ、とても嬉しかったです。目標の県大会出場とはならなかったことが悔しいです。

春季大会で三位に入ったので、夏季大会ではシード権があります。夏季大会では、春季大会の三位を超える優勝を目指して頑張ります。そして、県大会に出場するという目標を達成したいです。

三年生は春季大会で卒業するので、野球部に所属していただけるのはあとわずかです。今は、夏季大会に向けて、毎日練習に励んでいます。野球部を卒業したときに、技術だけでなく、人としてたくさん成長できたかなと思えるよう、悔いのないように全力で部活をしたいです。

■中学卓球部

私たち卓球部は、一年生二十人、二年生二十六人、三年生十七人に顧問の先生三人を加えた六十三人という大人数で日々練習に励んでいます。昨年度、新型コロナウイルス感染拡大により主要大会が次々と中止になる中、個人の部では優勝をはじめベスト4やベスト8、団体の部では準優勝という数々の成績を残しました。しかし、私たち卓球部は強ければよいということではありません。まず先生や先輩に対して礼儀正しくすること、次に学業に励むこと、そして卓球を楽しむながら強くなることの三つを目指しています。また、私たちが毎日健康に卓球を楽しめているのは親や先生、同級生や先輩の支えあってからこそだと感じ、卓球を楽しめることに對して感謝の気持ちを持つて様々な技術を磨いています。

これからも常に感謝の気持ちを持つて部員一同、県大会で入賞するという目標に向かって突き進んでいきます。

部長 橋本 大地

■中学女子ソフトテニス部

私たちソフトテニスは現在、三年生九人、二年生七人、一年生七人で活動しています。

今年はず定通り一年生の入部を迎えることができ、とても嬉しく思っています。二年生は、後輩にも気を配り、各自の練習に一生懸命取り組んでいます。今は、コロナウイルス感染拡大防止のため、練習試合が制限されており、他校と練習をするのは難しく、引退試合もどうなるかわからない状態ですが、三年生は毎

日の部活を大切に頑張っています。この部活のいいところは、先輩、後輩関係なく楽しく交流しているところ。外の時間でも仲良く交流しているところ。お互いに遠慮せず、何でも言い合えるのは良いことだと思うので、この関係を続けていきたいです。

対外試合が制限される中で、目標を見失い、気を抜いてしまう時もありますが、自分たちは何のためにソフトテニスをしているのかをもう一度よく考え、チーム全員で強くなっていけるように、残りの限られた期間ではありますが、キャプテンとして引っ張っていきたくと思います。

部長 三井 聡子

■中学陸上競技部

中学陸上競技部は、男子二十一名、女子二十六名の計四十七名で活動しております。そのほとんどが陸上競技未経験者ですが、上級生の指導を受け、日々練習に励んでいます。

練習では、主に長距離と短距離に分かれ、各パート長が中心となりメニューに取り組みするようにしております。その際、部員が一体となって活動するよう心がけております。また、ストレッチやマッサージなどのケアに重点を置き、怪我なく練習ができるように努めております。

昨年度、長距離は、男子が津市中学校駅伝競走大会にて優勝しました。残念ながら県駅伝は中止となりましたが、代替大会となった三重県長距離トライアル大会では、八位に入賞しました。短距離は、全日本中学校通信陸上競技三重大会にて、男子低学年4×100mリレーで第三位となりました。

中学陸上競技部の伝統を受け継ぎ、精進していく所存でありますので、

樹心同窓会会員の皆様のご支援のほど、よろしくお願ひ致します。

■中学馬術部

本年度四月に新入生十名を加え、三年生七名、二年生四名の計二十一名で二〇二一年度の活動を開始しました。昨年度の四人に比べ、倍以上の新入部員が入ってくれたこともあり、二、三年生も笑顔が増えたように思います。しかしながら、同時に先輩としてしっかりとした言動を求められる立場になったことも明らかです。特に二年生は中学校に入り、初めての後輩になります。未だ接し方に戸惑っている様子も多く見られますが、少しずつ適切な距離感を掴み始めている様子も見受けられます。顧問としても、馬の世話の仕方などで困っている後輩に手を差し伸べることや、自らの言動を振り返り、改善していくことで、後輩にとってよき手本となるように努力することを指導しているところです。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、休校期間や部活動停止期間などがあり、十分に練習することができませんでした。また、唯一中学生のみで開催される大会である「全国中学校馬術交流戦」は開催されませんでした。二〇二一年度新春三重県馬術大会」や「二〇二〇みえスポーツフェスティバル」「二〇二〇ジャンピングインミエ」「二〇二〇みえ馬場馬術大会」など、各大会で複数入賞を果たしています。(一覧表参照) 日々の練習が結果として表れることで、生徒達も振り返りの機会になり、モチベーションを高めることに繋がってほしいと思っております。

この原稿を執筆している現在も、複数の都道府県に緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が発令されて

おり、今年度の馬術部の活動内容も大会開催をはじめ、不透明なところがありません。しかしながら、この状況下においても部活動を行えることのありがたさを噛み締めながら、日々の練習を大切に、心身共に成長して、その成果として、大会等での好成績をご報告できればと思っております。何卒、応援の程よろしくお願ひ致します。

成績一覧(学年は旧学年になります)

◎二〇二〇みえ馬場馬術大会

馬場馬術競技A三課目

三位 三年 戸本 結衣

STARTER CLASS I

二位 二年 土肥 悠真

小障害飛越競技C

三位 二年 吉川 綾音

小障害飛越競技C-1

二位 二年 土肥 悠真

小障害飛越競技C-2

二位 二年 土肥 悠真

三位 三年 長倉 万結

◎二〇二〇ジャンピングインミエ

STARTER CLASS I

二位 二年 土肥 悠真

STARTER CLASS II

三位 三年 長倉 万結

優 勝 三年 戸本 結衣

二位 三年 長倉 万結

小障害飛越競技C

四位 二年 吉川 綾音

◎二〇二〇みえ馬場馬術大会

馬場馬術競技A三課目

優 勝 三年 佐藤 大起

二位 三年 戸本 結衣

五位 三年 源 愛実

馬場馬術競技A二課目

優 勝 二年 松村 凛

二位 二年 芝 朔矢

馬場馬術競技A二課目

令和2年度クラブ成績表(中学校)

Table with columns for event name, category, rank, and athlete names. Includes events like 津市民体育大会, 第15回津市中学校駅伝競走大会, 第30回鈴鹿カーニバル, etc.

Table with columns for event name, category, rank, and athlete names. Includes events like 馬場馬術競技L1課目, 2021新春三重県馬術大会, 第14回TSU-ANOTSUカップ, etc.

Table with columns for event name, category, rank, and athlete names. Includes sections for サッカー部, 書道同好会, ソフトテニス部, 卓球部, 俳句同好会, 馬術部, etc.

馬場馬術競技L1課目

六 位 二年 土肥 悠真

◎二〇二一 新春三重県馬術大会

小障害飛越競技C

三位 二年 吉川 綾音

小障害飛越競技B

五位 二年 吉川 綾音

■ 中学バスケットボール部

現在、中学バスケットボール部では男子が二十六名、女子が二十四名合計五十名で日々練習しています。昨年度はコロナ禍で中体連春季大会や中勢大会、一年生大会などの公式戦が中止になりました。選手同士の距離も近く、密になりやすい競技です。のでやむを得ないのですが、生徒たちの気持ちを考えると非常に心苦しい一年でした。そのような中、昨秋に開催されたTSU・ANOTS U・CUPにおいて、男子が第三位となりました。初心者が多いチームですが、身長・スピードともに能力の高い相手に屈することなく粘り強い試合展開で勝利をつかみ取ることができました。女子チームにおいては、基礎から一つずつ積み重ねて練習をしたことで、一人一人のスキルが上達したと感じています。また、限られた練習時間の中で集中して取り組むことができるようになり、チームとしての連帯感が生まれたように思います。大会では勝ち上がるのが難しいですが、その分勝てたときの喜びはとて大きいです。

また、秋から冬にかけては意識的にオフイシャル勉強会を開きました。

普段はなかなかオフイシャルの勉強に時間が取れなかったのですが、コロナ禍で練習ができないうえ、ミーティングの時間が多く取れたことは生徒たちにとっても良かったのではないかと思います。そのお

人権標語	優秀作品賞	川 東 庸 志
	優秀作品賞	濱 田 奈 那
	優秀作品賞	尾 崎 素乃香
◎第23回三重県新体操選手権大会		
男子ジュニア中学生	3 位	立 木 拓 登
◎GALAPAGOSDANCECONTEST四日市vol.6		
中学生部門	第3位	伊 藤 美 央
◎LLダンスコンテスト愛知県予選大会		
	優 勝	伊 藤 美 央
◎第三十八回椿大神社短詩形文学献詠祭		
中学生短歌の部	入 選	入 山 由 理
◎JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2020		
中学生の部	国内機関長賞	名 和 優 隼
◎第1回介護のみらいを考えよう作文コンクール		
中学生の部	高田短期大学長賞	坂 野 日 音
	三重県社会福祉協議会長賞	嶋 美 緒
	優秀賞	花 崎 翔
◎第29回鈴鹿市文芸賞		
作文・童話等	最優秀賞	笠 井 亜希子
◎第25回PROMISE約束エッセイ大賞		
一般部門	ブラザ賞	上 工 地 奏 葉
	10代の約束賞	加 山 奈 実
◎2020冬季ジュニアテニス選手権大会		
14歳以下女子ダブルス	準優勝	中久木 陽 奈
14歳以下女子シングルス	準優勝	中久木 陽 奈
◎第四十一回三重県小中学校書初め展		
	入 選	新 谷 夏 菜
	佳 作	森 あずさ
◎高田本山献書展		
	高田本山賞	森 あずさ
◎谷川ことすが書道コンクール		
	入 選	森 あずさ
◎伊那富神社奉納書道展		
	銀 賞	森 あずさ
◎河川愛護月間「絵手紙」		
	優良賞	米 山 百 音
◎第74回東海毎日ジュニアテニス選手権大会		
14歳以下女子ダブルス	第3位	中久木 陽 奈
◎第47回JSCA新年フェスティバル水泳競技大会2021		
13~14歳 200m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
13~14歳 100m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
13~14歳 50m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
13~14歳の部	優秀選手賞	廣 島 あつこ
◎三重県ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会		
女子13~14歳 50m平泳ぎ	1 位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 100m平泳ぎ	1 位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 200m平泳ぎ	1 位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 4×100mフリースタイル	2 位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 4×100mリレー	2 位	廣 島 あつこ
◎2020年度JSCA三重地域冬季水泳競技大会		
13~14歳 50m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
13~14歳 100m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
13~14歳 200m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
女子13~14歳4×100mフリースタイル	第1位	廣 島 あつこ
◎InDaHouse battle Vol.2		
U-15&U-18部門	準優勝	伊 藤 美 央

◎2020年度三重県中学二年生テニス大会		
女子ダブルス	準優勝	中久木 陽 奈
◎第42回全日本中学生水の作文コンクール 中央審査会		
	入 選	作 田 滂
	佳 作	米 山 百 音
	佳 作	長 井 咲 椰 子
	佳 作	館 優 衣 奈
◎第17回琵琶湖・淀川流域水の作文コンクール		
	流域賞	米 山 百 音
◎第八十八回全国書画展覧会		
書の部	特 選	長谷川 真 理
◎第十九回全国書道展		
	秀作賞	長谷川 真 理
◎令和2年度ウインタージュニアテニス選手権大会		
中学生女子ダブルス	準優勝	中久木 陽 奈
◎令和2年度「税についての作文」		
中学生短歌の部	東海経済新聞社協会会長賞	保 本 悠 悠 々
	津秋葉新聞社協会会長賞	竹 尾 珠 希
	津市長賞	黒 田 紗 那
	津市教育委員会賞	岡 村 沙 咲
	中勢新聞社協会会長賞	石 須 愛 穂
	優秀賞	紀 平 菜 々 子
	優秀賞	尾 崎 素 乃 香
	優秀賞	田 崎 有 彩
	優秀賞	藪 下 綾 音
	佳 作	藪 下 心 優
佳 作	堀 内 遥 斗	
佳 作	多 上 華 菜	
◎第66回読書感想文全国コンクール三重県審査		
中学生の部	優良賞	辻 井 颯 志
◎津市民スポーツ教室卓球強化リーグ		
	最優秀選手賞	中 川 さ ら
◎第3回三重とこわか水泳競技大会		
女子13~14歳 200m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 50m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 100m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 100m自由形	第2位	廣 島 あつこ
◎2020年度JSCA東海ブロック短水路水泳競技大会		
女子13~14歳 200m平泳ぎ	第2位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 100m平泳ぎ	第3位	廣 島 あつこ
◎第39回三重地域クラブ対抗水泳競技大会		
女子13~14歳 200m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
	最優秀選手賞	廣 島 あつこ
◎2020年度第43回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会		
13~14歳 女子4×100mメドレー	第5位	廣 島 あつこ
13~14歳 女子200m平泳ぎ	22 位	廣 島 あつこ
13~14歳 女子100m平泳ぎ	40 位	廣 島 あつこ
◎中学校47都道府県通信水泳競技大会		
女子200m平泳ぎ	28 位	廣 島 あつこ
女子100m平泳ぎ	50 位	廣 島 あつこ
◎令和2年度一身田中学校区人権フェスティバル		
人権標語	最優秀作品賞	梅 川 千 早
	最優秀作品賞	織 田 久 美 子
	最優秀作品賞	伊 藤 亜 美 沙
	優秀作品賞	伊 藤 和 紗
	優秀作品賞	加 藤 晴 香

中学生の部	入 選	吉 田 芽 生
	入 選	森 花 夏
	入 選	富 永 麻 結
◎第20回読書感想文「こころの木」		
中学生の部	優良賞	中 川 愛 望
◎第58回中学生作文コンクール		
中学生の部	I 等	堀 内 遥 斗
	佳 作	高 北 稟
	佳 作	桐 山 蓮 大
◎第三十八回椿大神社短詩形文学献詠祭		
中学生短歌の部	入 選	芝 万 倫 乃
	入 選	長 崎 琴 子
	入 選	浦 野 か れ ん
	入 選	稲 地 美 沙 紀
	入 選	小 柳 治 暉
	入 選	辻 井 菊 瑚
	入 選	保 坂 朔 太 朗
	入 選	保 坂 朔 太 朗
	入 選	日 置 萌 恵
	入 選	大 村 美 裕
	入 選	大 東 巧 輝
	入 選	鈴 木 未 風
	入 選	河 瀬 将 貴
	入 選	川 瀬 健 斗
	入 選	後 藤 美 結
	入 選	貴 志 七 織
	入 選	井 上 紗 良
	入 選	水 野 洪 之
中学生俳句の部	入 選	豊 田 竜 弥
	入 選	山 中 雅 斗
	入 選	進 士 莉 沙
	入 選	木 下 紗 季
	入 選	土 井 崇 寛
	入 選	糸 見 晃 来
入 選	小 菅 桃 奈	
◎三重県短水路選手権水泳競技大会		
女子50m平泳ぎ	第2位	廣 島 あつこ
女子200m平泳ぎ	第2位	廣 島 あつこ
女子100m平泳ぎ	第4位	廣 島 あつこ
◎三重県ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会		
女子13~14歳 50m平泳ぎ	第3位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 200m平泳ぎ	第3位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 4×100mフリースタイル	第1位	廣 島 あつこ
女子13~14歳 4×100mリレー	第2位	廣 島 あつこ
◎第72回三重県中学校学年別水泳大会		
女子2年生100m平泳ぎ	第1位	廣 島 あつこ
女子2年生100m自由形	第1位	廣 島 あつこ
◎令和2年度三重県選手権水泳競技大会		
女子100m平泳ぎ	第6位	廣 島 あつこ
女子200m平泳ぎ	第3位	廣 島 あつこ
女子50m平泳ぎ	第4位	廣 島 あつこ
女子200m個人メドレー	第5位	廣 島 あつこ
◎2020年度三重県団体テニス選手権大会		
一般女子団体の部	優 勝	中久木 陽 奈
◎東海ジュニアトーナメント三重県予選大会		
14歳以下女子ダブルス	優 勝	中久木 陽 奈

げもあつてか、大会では安心してオ
フィシャル業務に臨めました。勉強
会においても、上級生が一年生に教
えながら行なったため、コミュニ
ケーションを取る練習にも繋がった
と思います。思うように練習ができ
ない時期もありましたが、工夫をし
ながら練習に取り組み、チームワ
ークや一人一人の意識の向上に
繋がったと感じています。今後も、
活動ができることに感謝の気持ち
を持って、日々練習に励みたいと思
います。

■中学バレーボール部

現在、中学女子バレーボール部は
三年生六人、二年生八人、一年生
十人の計二十四人で活動していま
す。今年人気スポーツ漫画「ハイ
キュー!!」の影響もあり、たくさん
の一年生が入ってくれて、より賑や
かな部活になりました。ほとんどが
未経験者で、公式戦では苦戦してお
りますが、一勝をあげるために日々
生徒達は切磋琢磨して練習に励ん
でおります。

バレーボールは球技の中では珍し
く、床にボールを落とすといけな
いスポーツです。ボールが落ちるま
での数秒間で、チームメイトと声や
信頼でボールを繋ぎます。一人では
決してできないから難しく、魅力が
あり、人の心と心を繋ぐスポーツで
す。「ハイキュー!!」の中で「独り
では決して見るのだから見えない景色
でも独りではないのなら見えない景色
も独りではない」という屈指の名言が
あります。この名言はバレーボール
の真骨頂である、チームワークを的
確に表した言葉だと考えております。
中学でバレーボールを始め、なかな
か上手くないことや壁にぶつか
ることがたくさんあるかもしれませ
ん。しかしそこでチームで助け合う

ことで、バレーボールが昨日より上
手くなるといった小さなことから
公式戦での勝利といった大きなこと
まで、独りでは達成できなかったか
もしれないことが達成できるよつた
ようになります。そういったチーム競
技ならではの喜びや達成感を味わ
つて欲しいと思っています。また、そ
こで養われた相手を思いやる力や、皆
で一つのことを達成した経験を、高
校、大学を卒業して社会に出た際
に活かしてもらえたら、指導者とし
て嬉しく思います。

最後になりますが、生徒達が部活
動を思い切り楽しめる環境を作れる
よう、顧問として全力を尽くして参
りますので、今後ともどうぞよろし
くお願いいたします。

■中学サッカー部

中学サッカー部はスローガンが二
つあります。一つ目は「賢く・鋭
く・勇ましく」。二つ目は「印象・
信頼・感謝」です。二つ設定してい
る理由は「サッカーをしている時」
と「サッカーをしていない学校生活
の時」の目標を作ろうという想いか
ら誕生しました。

部活動とは学校生活の一部です。
そのため、サッカー部では「印象・
信頼・感謝」という三つの言葉を意
識して学校生活を送っています。

明るい挨拶、身だしなみ、姿勢
による表情、返事、ものの管理など
によって自分に対する他人からの
「印象」が変わります。そして、それ
がサッカー部全体の印象となります。

サッカーは十一人で行う信頼のス
ポーツです。普段の行動から約束事
を守る、時間を守る、嘘をつかないこ
とで仲間や先生から「信頼」される
ようになり、絆が生れます。

友達、先生、コーチ、対戦相手、
審判、保護者、サッカー用具そして

サッカーのできる環境に「感謝」し
なければなりません。感謝するとい
うことは、他のことに対して思いや
りを持つことにも繋がります。
このスローガンを大切にし、サッ
カーというスポーツを楽しみながら
良い結果を残していきたいです。

■中学なぎなた部

現在十六名が所属し、高校生と一
緒に稽古に励んでいます。
昨年度は全ての大会がキャンセル
され、全く試合ができないままに一
年が過ぎました。来年度は本県で全
国中学生大会が開催される予定で、
それに向けての強化を行いたいとい
うのですが、遠征も試合も経験できず、
なかなか厳しい状態です。

本年に入っても、四月に予定され
ていた県選手権・知事杯がキャンセ
ルされ、試合ができていません。し
かし、過去実績や練習会での様子か
ら選考会が行われ、本年七月に行わ
れる全国中学生大会(鹿児島)三重
県代表選手として、本校から団体一
チーム(三人)・演技一チーム(二
人)・個人一名が選出されました。

二年生中心のチームであり、また、
このチームではじめての対外試合
が全国大会というハナデはあります
が、このところ団体三位入賞や個
人四位入賞など、中学カテゴリーで
は全国で成績を残していますので、
なんとかそれに近づき、来年度には
頂点に立てるよう、頑張っていきた
いと思います。

・JOCジュニアオリンピックカップ

全日本中学生なぎなた大会
(令和三年七月鹿児島県)

- 三重県代表
- 女子個人 九鬼希美
- 演技 九鬼希美・藤田結莉

団体 田中一葉・九鬼希美
飯田 凜

■高校硬式野球部

私たち硬式野球部は、三年生十三
人、二年生十人、一年生十三人で活
動しています。

「一隅を照らす」を部訓とし、中
心選手だけが注目を浴びるのではな
く、全員がチームのために自分の居
場所を精一杯を尽くし、チームに
とって必要とされる人間になる事を
意識しています。中勢地区という厳
しい地区を突破し、県大会では、秋
季大会ベスト16、春季大会ではベ
スト8と、徐々に力をつけられてきた
実感を持ち、夏の甲子園出場を目指
しています。

敗北から勝ち上がるために、体力
強化を課題に設定しています。体重
の増加、スピードを上げるためのト
レーニングの重点課題として、特に
今年からは、自主練習の日を設定し、
各自が自分の短所を克服し、長所を
伸ばすメニューを考えて練習するこ
とができています。

自分で考え行動する力をつけ、人
に任せない責任感を強めて一つの
プレーに臨める強さを追求してい
ます。コロナに負けず、応援して頂
く方々への感謝を忘れず、日々闘う
ことを誓います。

■高校軟式野球部

軟式野球部は現在、部員数二十四
名で活動しています。学年関係なく
仲が良く、活気にあふれた良い雰囲気
で、信頼しあえる仲間たちと切磋琢
磨しながら日々練習に励んでいます。
新チームから日々練習に励んでいます。
は、東海大会へ出場することができ
ました。しかし、春季大会では、リ
グ戦に進んだものの、最終戦で流れ
をうまくつかむことができず敗れて

しまい、東海大会出場を逃がすとい
う非常に悔しい結果になってしま
いました。

部員一同、この悔しい思いを胸に、
より一層練習に励み、技術を向上さ
せ、精神力を磨いていきます。実力
を養い、チームの絆を深め、チーム
を成長させます。強力な打線と安定
した投手陣を武器にして、最後まで
粘り強く戦い、チャンスをものにし、
次の夏季大会は、必ず東海大会出場
を果たすと決心しました。そして、
チーム一丸となって精一杯プレーし、
秋に行われる国体出場も必ず勝ち取
ると心に誓いました。

先輩たちが築いてきた伝統を絶や
さずつないでいきたいと思っています。
今後も軟式野球部への応援を、ど
うぞよろしく願います。

■高校卓球部

令和三年度高校総体卓球競技兼全
国総体兼東海総体三重県予選が行な
われました。結果は次の通り。

〔シングルス・ダブルスの部〕

四月二十六日 中勢地区予選
津市久居体育館

男子シングルスは、Ⅲ2佐藤光、
Ⅲ2川口陽平、5c中川想太、Ⅱ2
濱林春斗、Ⅱ4世古悠人、ⅡA東佑丞、
Ⅰ1デッラスポレティーナ輝、Ⅰ2
平松諒也、Ⅰ3仲宗根利都斗が予選
通過。

女子シングルスは、Ⅲ1小崎里奈、
Ⅰ5岩本佳奈、Ⅰ2達知凜奈、Ⅰ5
山田こなつが予選通過。なお三重県
ランキング上位により、ⅢC山下剛
史、Ⅲ1根門良太、Ⅱ3前出陸杜、
ⅡC野口敬史、Ⅱ3鈴木渚帆、Ⅱ1
薄井結葉が地区予選免除での県大会
出場となりました。

男子ダブルスは、Ⅲ2佐藤光・Ⅱ

2 濱林春斗組、Ⅲ2 川口陽平・5 c 中川想太組、Ⅱ4 世古悠人・ⅡA 東佑承組、Ⅰ1 デッラスボレイヤーナ輝・12 平松諒也組、Ⅰ5 西岡海星・Ⅰ4 野崎文太組が予選通過。

女子ダブルスは、Ⅲ1 小崎里奈・Ⅰ5 山田こなつ組、Ⅰ5 岩本佳奈・Ⅰ2 達知凛奈組が予選通過。なお三重県ランキンング上位により、ⅢC 山下剛史・Ⅱ3 前出陸杜組、Ⅲ1 根門良太・ⅡC 野口敬央組、Ⅱ3 鈴木渚帆・Ⅱ1 薄井結葉組は地区予選免除での県大会出場となりました。

【ダブルスの部 三重県予選】
四月二十九日
三重交通Gスポーツの杜伊勢
男子ダブルスは、ⅢC 山下剛史・Ⅱ3 前出陸杜組が優勝、Ⅲ1 根門良太・ⅡC 野口敬央組が第三位でした。女子ダブルスは、Ⅱ3 鈴木渚帆・Ⅱ1 薄井結葉組が第四位でした。一位から二位が全国総体、一位から四位が東海総体の出場権を獲得しました。

【シングルの部 三重県予選】
五月一・二日
三重交通Gスポーツの杜伊勢
男子シングルスは、Ⅱ3 前出陸杜が優勝、ⅡC 野口敬史が第五位、ⅢC 山下剛史が第六位でした。女子シングルスは、Ⅱ3 鈴木渚帆が第六位でした。一位から四位は全国総体、一位から八位は東海総体の出場権を獲得しました。

【学校対抗の部 三重県予選】
五月二十九・三十日
三重交通Gスポーツの杜伊勢
男子学校対抗と女子学校対抗は、

いずれも二位で東海総体の出場権を獲得しました。
東海総体は六月十九日・二十日に三重交通Gスポーツの杜伊勢で、全国総体は八月十二日から富山市総合体育館で開催されます。

【高校ソフトテニス部】
令和三年度のソフトテニス部は、部員数が三年生二十人、二年生十九人、一年生十五人の計五十四人で、一人一人が自分の技を極めるだけでなく、皆で切磋琢磨しあひながらお互いの力を高め合い、日々練習しています。朝のコート整備も責任を持って行い、コートの鍵も、早く部活にいける人が率先して借りにいってくれるなど、皆が皆を配慮して、楽しくテニスがでできる状況で元気に活動しています。

そんなときに、コロナウイルスが流行しだし、緊急事態宣言がでたため、練習が満足にできないときもありました。しかし、部活が再開してから私たちはもういいやと自暴自棄になるのではなく、その間の分を埋めようと、さらに努力をしました。その努力が実を結び、津支部春季大会で団体戦は準優勝、個人戦は三位と五位で県大会に進出しました。県大会でも好成績を残せるように練習していきたいと思えます。

ソフトテニス部の先輩の方々、毎日忙しいと思いますが、また一度本山コートに足を運んでいただけるとうれしいです。

キャプテン 中谷 修真

【高校男女硬式テニス部】
私はこの三年間を部活動を通して、多くのことを学び、鍛えられたことが多くありました。普段の練習で利用できるコートが少ない環境の中、

私たちは県大会上位を目指して日々練習してきました。部員の中にはテニススクールに通っている部員もいますが、大半がテニス未経験者でした。そのため、経験者が中心となりテニスを基礎から教えなければならなかったため、後輩が入部してすぐの頃はどう教えればよいか全く分からず、とても悩みました。

しかし、人に教えることに慣れてからは別の視点で見ることができ、自身の成長に繋がったと感じています。また、楽しむときは楽しむ、頑張るときは頑張るとメリハリがつけられるとても良い部活の雰囲気だったので、部員全員が大会で勝つという目標を共有し、一人一人が足りないことは何かを考え、時には部員同士で相談をしながら高め合うことができました。

こういった努力の結果が表れたのが、Ⅲ年生とⅥ年生最後の大会である県総体でした。団体戦メンバーに選ばれなかった部員の分まで精一杯頑張ろうという気持ちで臨みました。一方で、これまでの練習でコートの使用が制限され、コロナの影響で練習試合が思うようにできなかったこともあり、私も含めメンバー全員が普段通りの力を発揮できるの不安な思いがありました。しかし、このような心配とは裏腹にいつも以上の集中力とパフォーマンスを全員がすることができました。

これまで、私はキャプテンとして、メンバーが弱点を克服できるように練習メニューを考えたたり、コミュニケーションを密にとったりすることでお互いを高め合える環境作りを注力してきました。大変なことも多くありましたが、続けてきて本当に良かったと思います。また、大きなやりがいを感じられたことは私の自信

にも繋がりました。私がこうして続けることができたのも、上手く教えることのできない私を支えてくれた部員、顧問の先生のおかげです。このかけがえのない出会いに感謝し、今後も高田高校硬式テニス部で培った経験を活かしていきたいと思えます。

【高校剣道部】
Ⅲ年A組 渡邊 伶菜
昨年、突然、未知のウイルスによって学校がストップし、勿論部活動もストップした。人生で最も長い休みを経験することとなる。インターハイ予選がなく、引退する生徒にかけるときもなく、引き継ぐ生徒にかけるときもなく、言葉の正解がわからなかった。でも生徒は素敵な空色のTシャツをお土産として残り、竹刀を鉛筆に持ち替え、自分の夢に向かって進み始めた。そして夢を掴む。いつの間になんか立派に成長したのか。

そんな先輩の姿を知っている二、三年生二十六名、新たな仲間九名、合計三十三名で今年度は出発した。コロナ禍で剣道のルールが変わった面の中ではマスクとシールドが必須。遠征には思うように行けず。でも稽古は出来たし、沢山の人のおかげで試合も出来た。みんな同じ条件。やるしかない。インターハイに行く。先輩の気持ちを背負う覚悟も出来た。みんなに会えない、剣道が出来ない不安な日々を経験したからこそ、一日の稽古を尊く思えた。結果は、一日の稽古ながら男女共にインターハイには行けなかった。本当に悔しかったし申し訳ない気持ちでいっぱいだった。でも前を向くしかない。空色のTシャツがそう思わせてくれる。でも少し振り返ってみる。今年のチームは本当に良かった。実は、稽古後の道場が一番好きだ。きつと、

生涯の友。剣道のおかげだ。先輩方と剣を交えることが出来る。日常に位置日も早く戻りますように。また、先輩方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

【インターハイ予選結果】
男子団体 準優勝(東海総体出場)
女子団体 第五位

【高校陸上競技部】
皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部員は五十八名(男子四十五名、女子十三名)で活動しています。また、部活動と学習や進路選択を両立することにも重点をおき、六年制や特選コースの生徒も多数活躍しています。陸上競技部の試合で掲げる横断幕には卒業生から贈られた「全力勝負」の言葉があり、大会において選手達はその思いを背負い競技しています。今シーズンは男子中長距離ブロックに力のある選手がおり東海・全国大会での活躍を目指しています。また、短距離ブロックには一、二年生に実力者も多く、一年後、二年後を見据えて目標をもってトレーニングに励んでいます。県総体までの結果は以下のとおりですが、まだ今シーズンは始まったばかりです。夏場の強化期間において合宿での走り込みや各記録会などに出場し実戦経験を重ねることで秋のトラックシーズンや高校駅伝においてもチーム記録の更新も目指してトレーニングに励んでいます。

最後に、コロナ禍で様々な活動が制限される中、今年度も無観客試合となつています。同窓の皆様で会場での観戦をご希望される方は、三重陸上競技協会でご大会のライブ配信を実施しておりますのでご覧いただけます。今年度もご支援、

ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

令和3年度国体第一次選考競技会

Table with 3 columns: 少年男子3000m, 準優勝, 第五位, 第三位, 第六位, 第八位. Includes names like 島田 晃希, 林 侑汰, 吉田 亘, 木村 誠, 柴田菜々子, 小野 愛莉, 野内 日出, 木村 颯翔.

令和3年度三重県高等学校陸上競技 春季大会

Table with 3 columns: 男子800m, 第五位, 準優勝, 第五位, 準優勝, 男子5000m. Includes names like 浅野 孔, 島田 晃希, 林 侑汰, 林 侑汰.

第七十一回三重県高等学校 総合体育大会陸上競技の部

Table with 3 columns: 男子トラックの部, 第五位, 優勝, 第六位, 第八位, 第六位, 女子7種競技. Includes names like 吉田 亘, 島田 晃希, 島田 晃希, 林 侑汰, 島田 晃希, 伊藤 快理.

第三位 6年a組 鈴木 聖菜
女子5000m競歩
第五位 二年A組 相澤 沙耶
第七位 二年A組 平井 優那
※六位までに入賞した選手が東海高校総体に出場

高校馬術部

本年度、四月に新入生一名を迎え、三年生四名、二年生五名と合わせ、計10名で二〇二一年度の活動を開始しました。昨年度、全国大会が団体戦・個人戦ともにコロナウイルスの影響により、中止になってしまったこともあり、先行きが不透明なことに對する不安も残る中で、生徒たちは東海大会や全国大会、国民体育大会において好成績を獲得できるよう、日々の練習に励んでいます。

いつてほしいと思っております。日頃より馬術部OBの皆様方には大変ご支援いただきまして、部員・顧問一同感謝しております。この原稿を執筆している現在も、新型コロナウイルスの県に對して緊急事態宣言が発令されていることから、今年度開催予定の大会の実施の可否も不透明なところではございますが、開催された折には良い結果をご報告できればと思っております。今後とも、応援の程よろしくお願い致します。

令和二年度 高田高校馬術部成績

(学年は旧学年になります)
二〇二〇みえスポーツフェスティバル
二〇二〇年九月二十六日(十七日)

Table listing horse riding results for 令和二年度. Columns include 小障害飛越競技, 高校一年, 吉永真由子, 三位, 小障害飛越競技C, 高校二年, 伊藤 美咲, 三位, etc.

令和3年度三重県高等学校総合体育大会入賞 東海大会・全国大会出場一覧表
令和3年5月28日(金)~5月30日(日)

Main table listing sports results for the 令和3年度三重県高等学校総合体育大会. Columns include 部名, 競技, 年組, 氏名, 成績, 東海, 全国. Lists various sports like 剣道部, 陸上競技部, バドミントン部, etc.

＜1010ジャンボングイン＞(11月1日)

小障害飛越競技C
 高校二年 奥田 記枝 優勝
 高校二年 中尾 真子 二位
 高校一年 吉永真由子 三位

STARTER CLASS I
 高校二年 伊藤 美咲 優勝
 高校二年 赤塚 聖 四位
 小障害飛越競技B
 高校二年 奥田 記枝 優勝
 小障害飛越競技A
 高校二年 奥田 記枝 3位
 中障害飛越競技D
 高校一年 吉永真由子 優勝

＜東海高等学校馬術新人戦＞(10月11日)

新人戦・障害飛越競技
 高校二年 奥田 記枝 二位
 新人戦・馬場馬術競技
 高校二年 伊藤 美咲 優勝
 団体戦優勝
 高校二年 奥田 記枝
 高校二年 伊藤 美咲

＜東海高等学校馬術王座決定戦＞(10月11日)

王座決定戦・馬場馬術競技
 高校二年 中尾 真子 優勝
 団体戦第2位
 高校二年 中尾 真子
 高校一年 吉永真由子

＜1010みえ馬場馬術大会＞(10月14日～15日)

FEIジュニアライダ―馬場馬術課目
 高校二年 中尾 真子 優勝
 高校一年 吉永真由子 2位
 高校二年 奥田 記枝 3位

FEIジュニアライダ―馬場馬術課目
 高校二年 奥田 記枝 2位
 高校一年 吉永真由子 3位
 馬場馬術競技A3課目
 高校二年 伊藤 美咲 4位
 馬場馬術競技A2課目
 高校一年 若林 美里 4位

＜1010新春三重県馬術大会＞

東近畿地区ホースフェスティバル
 (10月21日～22日)
 小障害飛越競技C
 高校二年 奥田 記枝 優勝
 小障害飛越競技A
 高校一年 吉永真由子 3位

＜ひょうごスプリングホースショー1010馬場馬術競技会＞(10月27日)

ジュニアライダ―馬場馬術(1)
 高校二年 中尾 真子 優勝
 ジュニアライダ―馬場馬術(2)
 高校二年 中尾 真子 優勝

＜ひょうごスプリングホースショー1010障害飛越競技会＞(10月29日)

小障害飛越競技A 標準形式
 高校二年 奥田 記枝 四位

■高校バスケットボール部 豊田 麻人

私達バスケットボール部は、一つのプレーを大切に一試合でも多く試合に勝つことを意識して練習も励んでいます。全体練習の後、希望者の居残りでシュート練習やハンドリングの練習など個人練習を行っています。練習メニューでは、試合などうまくいかなかったプレーをベースに

して対策を立てそれを反復していません。チームの持ち味の「対一を試合で活かすための「フロアバランス」速攻に繋げるための「パスカット」相手よりオフフェンスの場面を多くするための「リバウンド」「スクリーニング」など練習でチーム全体が同じ目標を成し遂げるためにミーティングを行い意識する点を全員で共有しています。

毎日の積み重ねを怠らず、目標を達成できるように頑張っています

■高校男子バレーボール部

高校男子バレーボール部は「One for all All for one」をモットーとし、「県ベスト8以上」を目指して日々練習に励んでいます。今年度は、三年生三人、二年生八人、一年生が十一人(マネージャー四人を含む)、合計二十一人の「One for all All for one」に加え「挑戦」もキーワードにし、日々活動しています。

チームに「トレーニング・アップ班」「データ分析班」「マネジメント班」という係りを作り、練習メニューを話し合ったり、練習試合などで得ることのできた内容から改善点を話し合ったり、日々の練習がより良いものになるように考えながらお互いを高め合っています。バレーボールは六人で行う競技のため、一人がどれだけ上手でも限界があります。また、コートに入っている選手だけでなく、入っていない選手も必死に努力しポジションの奪い合いをしなければ、良いチームにはなりません。そのため、私たちはポジション争いという「競争」をしながら、チームのレベルを上げていきます。

さらにバレーボールで必要なのは「声を出して、コミュニケーションをとりながら」とのことです。ひとりひとりがしっかりと声を出してプレーしな

れば、良いプレーは生まれません。そのため練習から「声を出して、元気よくやる」ことを意識しています。高校男子バレーボール部は、チームの仲間を大切にしながらも良きライバルとし、それぞれが向上心をもってチームの目標である「県ベスト8以上」を目指します。目標を叶えるためにも、高田高校の伝統である粘り強いチームを目指し、またバレーボールという競技をよりいっそう楽しみながらこれからも活動していきます。

■高校ハンドボール部

今年度は、男子二十六人、女子二十六人の合計五十二人でスタートしました。数年前までは、女子の人数が大変少なく、他校と合同チームでない公式戦にも出られないという状況でしたが、今は各学年でチームが作れるほどにまで部員が増えていきます。

コロナ感染予防のため、思うように活動はできていませんが、それでも強くなりたい、試合に勝ちたいと向上心を持って練習に励んでいます。昨年度の十二月に行われました第四十五回全国高校選抜大会三重県予選会では、女子の部で六位に入賞することが出来ました。男子も大変惜しい試合をし、その悔しさを次に繋げようと練習に取り組んで来ました。今年度五月に行われた三重県高等学校総合体育大会では、男女ともに一回戦敗退となりました。男子は試合の最後まで接戦でした。大切なシュートを決めきれず、最後は三ポイント差をつけられてしまいました。部活動を通して、人として成長できました。「ハンドボール部が高田で最高

の部活です。」など、後輩たちに想いを伝えて三年生は引退しました。先輩たちの涙を受けて、一・二年生は先輩たちの想いを胸に新しいチーム作りをしていくことと思います。

■今年度新しいチーム始動!

今年度は、男子二十六人、女子二十六人の合計五十二人でスタートしました。数年前までは、女子の人数が大変少なく、他校と合同チームでない公式戦にも出られないという状況でしたが、今は各学年でチームが作れるほどにまで部員が増えていきます。

コロナ感染予防のため、思うように活動はできていませんが、それでも強くなりたい、試合に勝ちたいと向上心を持って練習に励んでいます。昨年度の十二月に行われました第四十五回全国高校選抜大会三重県予選会では、女子の部で六位に入賞することが出来ました。男子も大変惜しい試合をし、その悔しさを次に繋げようと練習に取り組んで来ました。今年度五月に行われた三重県高等学校総合体育大会では、男女ともに一回戦敗退となりました。男子は試合の最後まで接戦でした。大切なシュートを決めきれず、最後は三ポイント差をつけられてしまいました。部活動を通して、人として成長できました。「ハンドボール部が高田で最高

の部活です。」など、後輩たちに想いを伝えて三年生は引退しました。先輩たちの涙を受けて、一・二年生は先輩たちの想いを胸に新しいチーム作りをしていくことと思います。

■高校サッカー 顧問 若林 広繁

高田高校男子サッカー部は、今年度で創部二十八年目を迎えることになりました。先日、県総体予選にて津西高校に敗戦し、三年生十六名が引退しました。現在、二年生十五名、一年生二十七名の計四十二名で活動しています。新チームは、文武両道を掲げ、勉学に励みながら、勝負にこだわっていきけるよう再出発していきます。チームの目標である「自立心」「協調性」を大切にしながら、強豪校に打ち勝てるようなチーム作りを目指しています。昨年度、男子サッカー部は三重県サッカーリーグ三部リーグにて結果を残すことができず、部員達もまずは「二部リーグ昇格」を目標にしています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となり、練習に励んでいます。今後、今までの以上に好成績を残していけるよう指導に励んでいきたいと感じています。

本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いっそうの努力を忘れず、部員、指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願ひします。

の部活です。」など、後輩たちに想いを伝えて三年生は引退しました。先輩たちの涙を受けて、一・二年生は先輩たちの想いを胸に新しいチーム作りをしていくことと思います。

■高校なぎなた部

現在十三名で活動しています。昨年はインターハイが開催されず、悔しい思いをしました。また、昨年度末の新人戦では、個人一〜三位を独占しながら、気の緩みからか、直後に行われた団体決勝を落とし、二年ぶりに開催された選抜大会への出場権を逃しました。通常ならば、女子個人の出場枠三名分と団体東海ブロック枠を獲得していたところなのですが、コロナ対応の縮小大会(団体と男子個人のみ開催)であったため、出場ができませんでした。再起を期して臨んだ今年の県総体では、エースの負傷と組み合わせ上の不利もあり、個人二位・団体二位が最高成績となりました。特に団体戦では、とこわか国体強化選手揃いの稲生高校に対し、判定が有利に働

七位 山村 愛奈
(東海総体出場)
二位 (東海総体出場)

・平成二年度三重県高等学校 新人なぎなた大会兼 全国高等学校選抜なぎなた大会 (令和二年十二月 高田高校)

女子個人の部 優勝 赤塚 未悠
二位 杉森 彩葉
三位 木村 立穂

団体の部 二位

・第一回とこわか国体 三重県代表選手選考会 (令和三年四月)

少年の部 一位 赤塚 未悠

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。今年度より堀孝輔先生が新体操部の指導者として加わりました。堀先生は本校卒業生であり、在学中はインターハイ優勝など輝かしい成績を残しています。大学進学後も新体操を続け、昨年は全日本選手権で準優勝を果たしました。堀先生によるトップレベルの指導と常設された新体操フロアという環境が整い、生徒たちも意欲的に練習に打ち込んでいます。

今年度、インターハイが新潟県で開催される予定となっています。昨年度は県大会、東海大会、インターハイが中止になり悔しい思いをしました。今年度は開催されることを願って、日々練習に打ち込んでいきたいと思っています。

・令和三年度三重県高等学校 総合体育大会 (令和三年五月 稲生高校)

女子個人試合の部 二位 赤塚 未悠

(東海総体・全国総体出場)

ございます。今後も、各種大会において、審判等をお願いをさせていただくと思っております。また、お時間がありませんでしたら、新しい施設や大会を見に来ていただきたいと思っています。

■高校バトントン部

私たちは、一年生十九人、二年生十五人の計三十四人で活動しています。主に、バトントンワーリングの団体大会、個人大会、そして文化祭などの行事で演技を披露しています。例年は、体育祭でのパレードや野球応援があり、部員一同楽しみにしていました。昨年度からはコロナウイルス感染拡大防止のため、これらの活動が中止になり、大変悔しく思っています。しかし、日々の練習はとても楽しいです。たわいもない話をして笑い合う時もあれば、みんなで意見を話し合う時もあります。そんな互いを認め合えるかけがえのない仲間に出会えることもバトnton部の魅力です。

今の私たちの目標は、東海大会で金賞をとることです。これからも部員全員で切磋琢磨し合い、必ず良い成績を残します。応援よろしくお願ひします。

高II 稲垣 那菜花

■高校英語部

高校英語部は昨年度に引き続き、今年度も各種コンテストへの参加とみえグローバル学生大使としての活動に力を入れています。昨今のコロナ禍においても活動方法にも変化が求められますが、歩みを止めることなく、生徒たちの自主性を重んじた活動に従事していきたく考えています。昨年度はコンテストの多くがオンライン開催や郵送での審査となりました。

した。その中でも「第二十一回高校生スピーチコンテスト(皇学館大学主催)」では部員3名が特別賞を受賞、「第十一回高校生翻訳コンテスト(大東文化大学主催)」において、部員一名が優秀賞を受賞しています。また、みえグローバル学生大使としての活動の中で、本校の姉妹校であるセントモニカ高校と協力して行っている「パキスタン学校支援」においては、校内での菓子販売を通じて約八万円を寄付できる状態にあり、「専修寺・寺内町英語ガイド」においては、専修寺より依頼を受け、英語と中国語における専修寺案内動画を作成致しました。

今年度もコロナに負けず、生徒の安全に注意を払いながら活動を続けていきます!

■高校演劇部

昨年は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた一年になりました。三月の春季大会は中止、例年夏に行っていた大会は秋に延期となりました。秋・冬に行われた大会はほぼ無観客となり、いちばん見えていたいただきたいご家族や友人たちにも観劇してもらえない日々が続きました。苦しい日々でした。

そんな中でも生徒たちはよく努力しまして、通常より枠が少なくなつた地区大会を突破、県大会では慣れない三重県総合文化センター小ホールでの上演でしたが、優秀賞を受賞し、中部日本高等学校演劇大会と近畿高等学校総合文化祭にW出場しました。近畿高等学校総合文化祭はW EB開催となり、十二月一ヶ月までたくさんの方にご覧いただきました。そして二〇二〇年度の春季大会。生徒たちの話し合いの上、昨年、春季大会が中止になり、上演できなかった演目を上演することになりました。

た。また上演中止になるのではないかと恐れながら、消毒をし、換気を行つての練習でしたが、無事上演を終えることができてほっとしています。ありがとうございます。これが、昨年度最もうれしいことでした。これから、コロナ禍ならではの上演を模索していくことになると思います。七月三十日(金)〜八月一日(日)は白山しらすぎホールで地区大会、八月十一日(水) 十二日(木)は三重県総合文化センター 中ホールで県大会です。もう、無観客上演はやめたい。ぜひ、劇場に皆様足を運んで欲しい。そういう思いでいっぱいです。

■高校数研部

私たち数研部は、プログラミングを主な活動内容としています。プログラミングとひとことに言っても、その目的はゲームの作成やシステムの開発など様々ですが、私たちはメインの活動として「競技プログラミング」なるものに取り組んでいます。競技プログラミングとは、与えられた問題を解くプログラムを、いかに早く正確に作成できるかを競うものです。プログラミングに必要な考え方や技術を、楽しく学ぶことができます。

昨年は、パソコン甲子園の本戦に現高三の賀登と磯部、情報オリンピックの本戦に賀登が進出しました。現高二以下の部員は先輩に見劣りしないような実績を残す事を目標に、日々精進をしています。また、今年度は多くの一年生が入部してくれました。プログラミングに興味のある子が多いようので、期待大です! とこわかで、「数研」という名前なのにプログラミングばかりしていた数研部でしたが、最近では部室で数学の問題を何人かで考えることも増

えてきました。日本数学オリンピックの問題から、ネットで話題の問題までジャンルを問わず、気になった問題を解いています。

昨年の日本数学オリンピックでは、磯部が見事銅賞に輝きました。日本代表選抜春合宿への進出は数研部十四年ぶりの快挙です。

今年度は部室での活動に加え、毎週月曜日にO A室で活動することが決まりました。部室よりもいい環境に身を置くことでさらなるスキルアップを目指すことができると考えています。「私たちの青春は数研部にあった。」と言えるように、この一年も全力で楽しんでいこうと思います。

■高校家庭部

III E 樋口 愛果

私たち家庭部調理班は、三年生十二名、二年生六名、一年生十一名で活動しています。昨年度は、新型コロナウイルスの影響によって調理をすることができなくなったり、文化祭や寺内町祭りでのパウンドケーキやシフォンケーキの販売ができなかったりと、私たちの活動を知ってもらう機会がなくなっていました。

学校での調理の代わりに、リモートで部活の皆と自宅でシフォンケーキや、餃子の早包み大会などをしました。学校での調理ができるようになってからは、今の二年生と三年生でシフォンケーキを作りました。何れも何度も試行錯誤しながらそれぞれの班で意見を出し合い、味や食感を決めていきました。ブルーベリーシフォンケーキや抹茶シフォンケーキ、コーヒージュシフォンケーキなどを作りました。

現在、三年生は「ピクニック」をテーマにして三色団子やコッペパン

サンドなどを作っています。この料理が私たち三年生の最後の活動となります。また、新型コロナウイルスの影響により、班のメンバーとリモートで一緒に作っています。最後の活動なのに全員そろって調理ですが、納得のいくものが作れるように頑張ろうと思います。

私がこれまで部活動を通して学んだことは、楽しく調理して終わりではなく目標を持って調理したり、作ったものから皆の意見を合わせてさらに練習と改良を重ねる大切さです。私はこの約二年間で部活動を通して、一つのものに対してどうしたらもっと良くなるのか、失敗したときには、何が悪かったのかを、じっくりと考える経験ができました。そのおかげで、今までは自分の意見をはっきりと言葉に出すことが苦手でしたが、自分の意見を頭の中でまとめ、相手に伝えられるようになりました。これからも生活の中でも部活動での経験を活かしていきたいと思っています。

■高校仏言インターアクト部

私たち仏言インターアクト部は三年生十五人、二年生二十四人、一年生二十三人の計六十二人で活動しています。寺内町の清掃やJR一身体田駅の花壇の植え替え、あしなが学生募金などのほか、仏教行事の準備や片付けなどを行っています。

昨年は新型コロナウイルスの影響を受け自粛を余儀なくされましたが、この状況だからこそできることがあると考え、新しい活動に取り組みしました。その一つが、手洗い啓発動画の作成です。この暗い雰囲気の中楽しい動画をたくさんの方々に見ていただき、少しでも元気になっていただきたいという思いから、正しい手

洗いが学べるダンスを通して地域の皆さんを応援しようと考えました。動画を見ていただいたのは「安濃津ろまん」「三重保育園」など34の施設でした。本校の生徒や先生方のご協力もあって素晴らしい動画になり、見てくださった方々からはお褒めの言葉や感謝のお手紙を頂きました。人と接する活動が少ない今、こうしてたくさんの方々との触れ合いを体験できたことを、部員たちはとても嬉しく思っています。これからもたくさんの方々の活動をいただけることに感謝しながら、真摯に取り組みしていきたいと考えています。

■高校将棋部

高田高校は、四月二十九日に行なわれた第五十七回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、男子個人の部、男子団体の部、女子団体の部でそれぞれ優勝しました。優勝したメンバー男子四名、女子三名は七月三十一日から和歌山県で行なわれる全国大会に出場することが決まりました。全国大会に出場する生徒は全国大会で入賞することを目標に日々の練習に取り組んでいます。

将棋部の活動は、放課後二時間程度の練習を行っています。男子部員は有段者が多く、試合で勝つことを目標に切磋琢磨しています。女子部員は将棋の基本から学んでいます。今年度は多くの女子部員も入部し、楽しく明るく部活動を行っています。

男子も女子も全国大会への出場を目指しながら日々の練習を行っています。新型コロナウイルスの影響で練習も制限される中ではありますが、棋力向上に向けよりいっその努力を怠れず生徒、指導者共々精進してまいりますので、将棋部の活動を応援していただきますようお願いいたします。

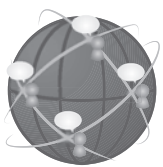
国際交流委員会

オーストラリア交換留学

若林 広繁

昨年度の二十七回目となるオーストラリア訪豪プログラムは、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。今年度も、昨年度に引き続き、九月のオーストラリア交換留学プログラム受け入れについては中止となってしまい、国際交流活動も行えない状況になっていきます。しかしながら、現在でも姉妹校であるパレード校・セントモニカ校の両校と連絡を取り合い、オンライン交流という形で国際交流を行えるよう検討中です。

SNSを通じて交流を継続していき、今後それぞれの絆が断ち切れることがないよう創意工夫をしながら国際教育活動に従事していきたいと強く感じています。このプログラムを立ち上げ、ここまで素晴らしい交流プログラムを築き上げてきていただいたすべてのの方々の意志を引き継ぎ、生徒たちの国際活動をサポートし続けていきます。



短大だより

令和二年度の進路状況について

キャリア支援センター

樹心同窓会の皆さまには、平素より学生の就職活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和二年度は新型コロナウイルスの影響で各大学の就職内定率が低下する中、本学の就職状況が良好であったのも同窓生の皆さまのご支援のお蔭と深く感謝いたしております。

さて、令和二年度卒業生の三月末現在の進路状況についてご報告します。全体の状況は、卒業生2008名(昨年度242名)に対して、就職希望者202名(同233名)、就職決定者201名(同230名)、未内定者1名(同3名)となり、就職率は99.5%(同98.7%)という結果でした。なお、進学者はなく(同4名)、家事等従事者は6名(同5名)でした。また、県外への就職は4名(同12名)と減少し、県内就職率は98.0%(同94.8%)となりました。

次に学科別の状況についてご説明します。

◇子ども学科

卒業生118名(昨年度158名)のうち、幼稚園に11名(同7名)、保育園に69名(同97名)、こども園に19名(同25名)、児童養護施設等に11名(同17名)、社会福祉施設等

に1名(同6名)、一般企業に2名(同3名)がそれぞれ就職しました。進学はなく(同1名)、家事等4名(同2名)、未内定1名(同なし)で、就職率は99・1%(同100%)でした。専門職としての就職者も全体の98・2%(同98・1%)と高率です。また、市町公務員試験では19名(同34名)が保育士・幼稚園教諭職に合格し、4名(同10名)が会計年度任用職員として就職しました。今年度は卒業生の数が少なく、公務員の募集が減少している中、健闘したと言えます。また、幼稚園への就職が少なく、保育園・児童養護施設等への就職者が多いのが近年の傾向です。

◇キャリア育成学科

オフィスワークコース

卒業者数は60名(同67名)で、医療・福祉19名(同8名)、卸・小売業17名(同17名)、金融・保険8名(同6名)、建設4名(同2名)、サービス業3名(同9名)、運輸・情報通信2名(同8名)、製造1名(同4名)等、計59名(同59名)が一般企業に、1名が公務員(市町職員)(同なし)として就職しました。また、家事等はなく(同3名)、進学もなし(同2名)、未内定もありませんでした(同3名)。就職率100%(同92・1%)を達成、例年以上に好調な結果となりました。

◇キャリア育成学科介護福祉コース

卒業生30名(同17名)のうち、老人介護施設に26名(同15名)が、一般企業等に2名(同1名)が就職し、進学はなく(同1名)、家事等が2

名(同なし)、未内定はありませんでした(同なし)。なお、卒業生のうち、外国人留学生在が17名(同7名)でした。

全体の求人状況については、本年度、保育所・幼稚園・児童養護施設から1,119人(同1,287人)、一般企業から587人(同696人)、老人介護施設から346人(同384人)の求人がありました。依然として保育関連、企業、社会福祉施設とも求人数が多く、売り手市場の状況は変わっていません。

おわりに、社会に出た後輩たちを暖かく見守り、厳しくご指導賜りますようお願い申し上げます。キャリア支援センターからの報告といたします。

◆短大部会だより◆

北 端 一 子

同窓会名簿の話があつてから、ようやく手元に届きました。まず、名簿の厚さに驚きました。重たいこと、ページをめくることの大変さです。CDにならないのかな?そうすると扱いやすいのにと自分勝手に考えてしまいます。ページをめくりながら、自分の学年を探して、一人一人の名前を言葉に出してみました。仲良しの友の名前が出てくると、学生生活を思い出しながらどうしているかなと考えてしまいました。次に娘の名前を探しました。娘は高田高校を卒業していたからです。生年月日からの学年かなと見ても名前がありません。住所が分からないので、名前だけ組の下の欄にありました。連絡がしてなかったのかなと思ひ、学校

に連絡しようと思ひました。皆さんの知っている方も同じような方がいらつしやるのではありませんか?気付いたら連絡をしてあげてくださいね。

短大部会ですが、今年も役員会が出来そうにありませんね。三重県の感染者数が増加傾向で心配です。変異ウイルスの増加に伴う感染者数の増加に驚くばかりです。テレビでマスクをしないで外出をしている方を見かけると、なお一層心配になってきます。

新聞に、五月から集団接種の予約受付、中頃に個別接種の受付となっていました。普段お世話になっている医院で接種をお願いしようと思ひています。やはり、よく知っている先生の方が安心です。私だけかも分かりませんが?

ワクチン接種を多くの方が早く受けられるといいなと思ひます。そうすれば、今まで通りの活動が出来るようになるのではと思ひています。多くのイベントが中止になったり、活動が縮小になったり、オンラインでの発表になったりと今までと違う方法を模索しているようです。既成概念にこだわらず色々な方法を試す良い機会かも分かりませんね。

コロナウイルスのワクチン接種が早く多くの方が受けられて、終息しますように、祈りましょう。今までの日常生活が、心に潤いをもたらしてくれていたことに気付きました。今しばらく外出を控え、手洗い、うがいと健康管理を努めていきましょ

会員だより

ミニミニ同窓会

昭和五十年中学校 昭和五十三年高等学校卒業 前川 正 登

四月二十一日(水) 真宗高田派本山専修寺及び高田学苑の職員と関係のある五名が、ミニミニ同窓会を本山専修寺宗務院で行いました。

母校を卒業して三十九年ぶりに、真宗高田派本山専修寺法主である常磐井慈裕さんや宗務院総務の弓削弘嗣さんに会うことができました。中高生時代の懐かしい思い出や常磐井さんの天皇陛下と学び舎を一緒に過ごした学習院大学時代の貴重な話も聞くことができ、写真のように和や



中央...常磐井慈裕法主、2段目左から...弓削弘嗣、鷲尾尚史、前川正登、村主英明

かなよき思い出となる一時となりました。

来年度は高田学苑樹心同窓会一五〇周年と、再来年度真宗高田派本山専修寺の奉賛大法会及び新宝物館の建設が盛大に挙行されようとしております。

これらの行事が無事成功裏に完遂できることを祈念するとともに、コロナ禍が早く終息して、たくさん同窓生の方々と再び思い出を語る日々が来ることを願って止みません。

「木馬その一」三十一会備忘録 より抜粋」 学生時代の思い出

昭和三十一年高校卒 服部 文 澄

在学中は、全建物は歴史に刻まれた古い木造建築で、周囲は南の高田本山、東南裏門に一部在宅以外は田んぼ、道路は地道、夏期はそれなりに涼しく、風が吹けば、ガラス窓がガタガタ、床や壁面の隙間激しく、且つ、冬期は寒く、歩けばギシギシと音符のように鳴っていたのが当たり前で、誰一人も苦情のない時代でした。小生はバレーボール部に入籍し、顧問は時には超元氣な長谷川誠先生で、唯一熱烈、運動場に全生徒の集合時は、グラグラ歩いて遅れてくる生徒を見つけては高台に上

樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

令和 2 年度

卒業年度順 (敬称略)

伊藤清一 (高校 S28)
藪谷為雄 (高校 S37)
松陰昭 (高校 S39)
松陰香世子 (高校 S41)
和賀克公 (中 3 S41)
戸田喜之 (中 3 S41)
吉川邦昭 (中 3 S41)
羽津本久治 (中 3 S41)
浦田英男 (中 3 S41)
前川伸一 (高校 S42)
安井敏明 (高校 S44)
出上純子 (高校 S44)
原口多美子 (高校 S44)
大野實宥 (高校 S44)
松谷直樹 (高校 S44)
西谷隆夫 (高校 S44)
田中のり子 (高校 S44)
坂口芳樹 (高校 S44)
堀川彰 (高校 S44)
坂井由利 (高校 S44)
野末真知子 (高校 S44)
吉田美知子 (高校 S44)
北端一子 (短大 S45)
松田英明 (中 6 S45)
松田直久 (高校 S48)
東泰行 (中 3 S51)
桜井顕秀 (高校 S53)
藤井徳雄 (高校 S54)
松井透 (高校 S54)

令和 3 年 3 月 31 日現在

塩澤誠 (高校 S54)
西川学 (中 6 S54)
佐波哲次 (中 6 S54)
磯田泰之 (高校 S54)
伊藤ちづ子 (高校 S54)
脇田研二 (中 6 S54)
中島三美 (高校 S63)
玉田浩也 (中 6 S63)
落合健一 (中 6 H1)
丸山敬子 (高校 H1)
大塚正信 (高校 H1)
松本直樹 (中 6 H1)
大根田早百合 (中 6 H1)
歸山快丈 (高校 H1)
永田健男 (高校 H1)
中川雅弘 (中 6 H1)
伊藤雅美 (短大 H3)
沖和哉 (中 6 H10)
吉野桃子 (中 6 H10)
石井了嗣 (高校 H11)
木下治之 (中 6 H11)
酒井理保 (中 6 H11)
山口裕子 (短大 H13)
小柴文明 (中 6 H21)
奥山有紀 (高校 H21)
森本剛史 (高校 H21)
秦豪宏 (中 6 H21)
宇陀木人 (高校 H29)

ご寄付をいただいた皆様

- 織田 紀代子 (旧職員)
- 長谷部 万里子 (高校 S34 年卒)
- 藤澤 秀美 (中 3 S40 年卒)

●ご協力いただき誠にありがとうございます●

かつては「早く集合」と、大声で鶴の一声を張上げ、生徒からはいつもマークされ印象的で一面スパルタ型の熱血な先生でした。このように厳しい先生に恵まれたお陰で、今の自分があると感謝しています。部活のバレーボール練習場は運動場北西一角で下面是土で、部室はその近くに、歴史物語る古い木造小屋型で隙間多く、入り口は、戸閉め出来ないオープン型で、内部は粗壁、時には雨が舞い込む小屋に、用具を格納していました。学校からの部活への補助金は超緊縮財政のためか、男女合

わせての用具はネット男女共用 1 張り、ボールは 4〜5 個で追加購入ができない状態の連続。ハンドボール、ラグビー、野球部の運動場がいか所の共有でしたので、時間や場所を区切つてそれぞれ活動。卓球部の場所は下面がコンクリート製の廊下には台。軟式テニスは南東角裏門一角の恵まれた土の一面。柔道は二年生の時に、木造体育館(西側に舞台)が初めて、リサイクル活用木材で建設され、その内部北東の一角に畳が敷かれた好環境の場。生徒会の部屋は、南西教室端から図書室に通じた廊下

の中間西に位置し、間口二間、奥行一間程度の間で、長い机が列に西側に並んでおり、当時としては、比較的恵まれた部屋で、窓越しには田園風景が眺められる癒しの空間でした。この部屋は、先輩の生徒会長小堀高生さんが、小生が二年に副会長でしたので、案内していただき「このような部屋があったんだなあ」と初めて知りました。運動会の商品は陣内町の「野田文具店」様で、殆どノートなどを購入。全国大会に出場したクラブは、昭和二十八年ハンドボール部とラグビー部、二十九年ハ

令和3年度 協 賛 企 業 様 一 覧

R 3 年度 6 月 18 日現在 (五十音順)

名 称
愛 知 (株)
ア イ ン ズ (株)
荒 川 制 服 (株)
伊 藤 印 刷 (株)
津 伊 藤 販 売 店
(株) S D コ ン サ ル テ ィ ン グ
岡 三 証 券 (株)
岡 写 真 館
オ ー ク ト リ ー (株)
(株) オ リ エ ン タ ル
(株) カ ン キ ョ ー
(株) 近畿日本ツーリスト中部 津支店
(株) 鴻 池 組
三 十 三 銀 行
三 和 書 店
(株) シ ス テ ム テ ク ノ
杉 新 衣 装 店
鈴 木 商 事
セ コ ム 三 重 (株)

名 称
(株) Z T V
瀧 本 (株)
な い と う 接 骨 院
千 卷 印 刷 産 業 (株)
(株) 中 京 銀 行 津 支 店
(株) 中 部 都 市 建 築 設 計 事 務 所
長 永 ス ポ ー ツ 工 業 (株) 三 重 支 店
(株) 津 ド ラ イ ビ ン グ ス ク ー ル
(株) 辻 工 務 店
筒 井 印 刷 (株)
東 海 土 建 (株)
(株) 東 海 フ ォ ト デ ザ イ ン シ ス テ ム
東 邦 ガ ス (株) 三 重 支 社
富 や X X ダ ブ ル エ ッ ク ス
ト ン ボ
ス ー パ ー ニ シ イ
(株) 西 出
日 本 土 建 (株)
(株) 白 揚 ブ ッ ク セ ン タ ー

名 称
写 真 の は せ
長 谷 川 体 育 施 設 (株)
(有) 樋 口 商 店
(株) 百 五 銀 行
富 士 フ ィ ル ム ビ ジ ネ ス イ ン ベ ー シ ョ ン ジ ャ 潘 (株)
藤 原 工 業 (株)
(株) 武 道 東 海
ブ リ ク ス ト ン
プ ロ フ ォ ー ト コ バ ン
(有) 平 治 煎 餅 本 店
別 所 書 店
(株) ヘ ル シ ー フ ェ ミ リ ー
ポ ッ カ サ ッ ポ ロ フ ォ ー ド & ビ バ レ ッ ジ (株)
本 の 王 国
三 重 交 通 (株)
三 重 ト ヨ タ 自 動 車 (株) 津 桜 橋 店
ミ ヤ タ ス ポ ー ツ
リ コ ー ジ ャ 潘 (株)
ヨ シ ダ 運 動 具 店

ンドボール部、三十年度ハンドボール部とラグビー部の三部活が、ずば抜けた活躍(他の部も活躍していましたがデータ不明)。野球では甲子園を目指す県予選が津球場で行われた、昭和三十年七月二十八日午前十時頃に応援として駆けつけた試合中、ヘリコプターなど急に空が騒がしい時あり。後で知った結果、津市橋北中学校女子が水泳訓練中に三十六人が、中河原海岸(文化村海岸)にて水に溺れ死亡(13名負傷)した痛ましい水難事件がありました。(中略)

一卒業生として、

母校に期待する事項!

少子化時代を迎え、学苑はどこよりも学費安く、学力が伸び、躰よく部活動が身につく、優しい行動、礼儀良く、常識良好、仲間から崇拜され、いじめなく、校訓の「言行忠心 表裏相応」が一層、生徒に自然に身につく、社会人になれば、世のため人のため奉仕精神も養われ、役立ち「さすが高田学苑を卒業した学生だ」と、世間から太鼓判を押され、尚且つ、他校に比べれば何もかも高い評価を、継続するよう期待しています。それには、諸先生方は一層精進され、より以上良好で目に見えた功績を積み、良さ面の差別化を、県下常にトップを期待しています。

■事務局だより■

同窓会事務局に入って

昭和五十年中学校、昭和五十三年高等学校卒業

前川 正 登

この度の高田学苑校内人事の異動により、前年度までの安井敏明事務局長に代わりまして、高田学苑勤務二年目ではありますが、高田学苑樹心同窓会の事務局長を命ぜられ着任致しました。

歴史と伝統ある母校高田学苑に勤めさせていただくことは、公立中学校に勤務していた時代からの長年の希望でもありました。今新たに母校で勤務させていただいていることに感謝いたします。

さて、今や高田学苑樹心同窓会の会員数は、明治二十九年第一回旧制高田中学校卒業生以来五万名を越え、当会は巨大な組織となつています。現職の田村憲久厚生労働大臣をはじめ、政財界のみならずあらゆる分野でたくさんの方を輩出してあります。さらに、同窓生の方々国内だけでなく、アジアや欧米、世界へと羽ばたき、人類の平和と調和にご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

当会は、現役の中高生や短大生の支援は勿論のこと、同窓生の方々のますますのご健康とご活躍を祈念して、微力ながらも同窓生の方々にしっかりと応援させていただきます。

今後とも、前任者同様、変わらぬご厚誼とご鞭撻の程をどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度

高田学苑樹心同窓会総会中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を避けるため、本年八月一日に開催される予定でした高田学苑樹心同窓会総会を、昨年度に続き中止させていただくことになりました。

新型コロナウイルスの早期終息を願い、次年度こそ総会での再会を楽しみにしております。ご理解とご了承をさせていただきますようお願い申し上げます。

令和3年度退職教職員

大里堀小岡林金岩福鷲 安杉奥宮松亀鹿伊服村畑鈴 (中・高)
野中内田田丸間田見 井村山本山井鳥藤部野中木
由久由富一韓博知洋裕 敏貴重京智博和純温利公 (大)
美香 佳子里彦範變文之志子 明代康子道樹涼子一志之明

訃報

※経年のご連絡分も含みます

安田	樋山	山長	西樋	抜林	石西	種若	木木	原中	岸竹	小伊	岩小	樋宮	北奥	池北	市駒	川山	木古	西前	穴山	松岡	小高	國相	村岩	瀬山	松駒	青岩	
田中	田村	谷部	飯口	岡井	井井	業村	田川	田田	澤宮	藤崎	山廻	村山	山田	川川	田川	戸田	村市	村山	山路	村本	林山	府原	上間	古藤	尾田	木佐	
悦		二二	裕英	徳宗	征照	周徹	貞康	俊健	從隆	千信	悖紀	憂芳	鈴正	武英	教良	勝泰	典博	久曉		立俊	幸公	和喜					
美敦	香二	二天	和康	郎拓	夫次	子子	哉文	一第	道男	秋寛	勝勝	男弘	明弘	代和	章彦	香彦	尚次	久一	紀照	己郎	光寿	真昌	治男	亨也	敏彦	雄進	
(S	(H	(H	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S	(S
56	5	1	44	38	37	35	33	31	29	28	26	25	34	32	32	31	31	30	27	26	25	25	23	22	21	15	15
短大	高校	高校	高校	高校	高校	高校	高校	高校	高校	高校	高校	高校	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3	中3